

安曇野市公共サインガイドライン

平成30（2018）年10月

安曇野市

目次

1. 本ガイドラインについて	
1.1 公共サイン整備の目的	1
1.2 本ガイドラインの適用範囲	1
1.3 サイン分類用語の根拠	1
2. 公共サイン整備の方針	
2.1 計画設計の基本的な考え方	2
2.2 系統とサイン種別の設定	2
2.3 サイン種類ごとの配置原則	3
3. 表記に関する基準	
3.1 掲載情報の選択基準	4
3.2 表記言語の設定	5
3.3 図解サインに掲載する情報	5
4. 表現要素に関する基準	
4.1 書体と文字高の設定	8
4.2 ピクトグラムの設定	13
4.3 色彩の設定	15
4.4 形状・素材の設定	17
5. 観光系サインシステム	
5.1 整備箇所の想定	20
5.2 同定サインのデザイン仕様	25
5.3 図解サインのデザイン仕様	27
5.4 指示サインのデザイン仕様	30
6. 公共系サインシステム	
6.1 整備箇所の想定	38
6.2 同定サインのデザイン仕様	41
6.3 図解サインのデザイン仕様	43
6.4 指示サインのデザイン仕様	46
7. 管理運用	
7.1 管理運用方針	51
7.2 管理運用体制	51
7.3 管理方法	51
7.4 管理台帳	51
付録 サイン掲載用語一覧	56

はじめに

安曇野には北アルプスと田園風景、さらには湧水群という恵まれた観光資源があります。その魅力が次第に広まって、安曇野市を訪れる観光客数は平成 29 年には 500 万人を数え、この 10 年余りで倍増しました。また長野県全域では外国人観光客が急増しており（平成 28 年延宿泊者約 86 万人、前年比 22%増）、本市を訪れる外国人観光客も徐々に増加するものと思われます。

しかし現存する観光案内標識は、国道・県道沿いの道路標識を利用したものや旧町村がそれぞれ設置した観光案内板、環境庁と県が設置した自然歩道標識など、さまざまな様式のもの混在し、市全域の観光地を全体的・体系的に案内できる水準にいたっていません。

また平成 17 年に 5 町村が合併した本市は、豊科、穂高、三郷、堀金、明科の各市街地を中心に、公民館、交流学習センター、図書館、体育施設などの公共施設の整備を進めてきましたが、これら公共施設の案内においても現状では一部に道路標識があるに留まり、市全域を体系的に案内できる水準にいたっていません。

このような移動経路における案内不足の状況を解消するため、安曇野市では公共サイン整備を進めることとし、その考え方や設計基準等を示した「公共サインガイドライン」を策定します。「公共サイン」とは、人々の円滑な移動等を支援するために、公共機関が設置主体となり、道路沿いや公共施設内などに整備する案内表示類の総称です。また「サイン」とは、標識（しるし）のことで、情報の送り手と受け手をつなぐコミュニケーション・メディアであることを意識して計画整備を進めることとしています。

本ガイドラインでは、名称等の表記に関する基準、書体や色彩など表現要素に関する基準、形状やレイアウトなどデザインに関する基準等を規定しています。

見やすくわかりやすく、また安曇野にふさわしいスマートな公共サインを統一的に整備することで目標が視覚化されて移動のモチベーションが高まり、観光客にとっては旅行が一層楽しく、市民にとっては暮らしが一層円滑になることが見込まれます。またこの整備によって、内外からの観光客の増大と、都市景観の質が向上し安曇野市全域の一体感の醸成に寄与できることが期待されます。

1. 本ガイドラインについて

1.1 公共サイン整備の目的

サイン sign とは、記号、符号、表れ、兆候、痕跡、身ぶり、合図、信号など、情報を伝える有形無形のしるしのことである。対象が人とのかかわりの中で記号化され、情報として意味するとき、それらすべてをサインと呼ぶことができる。

今日建築設計や環境デザインの分野で、多人数が集散する施設等に設置する表示によるコミュニケーション・メディアをサインと呼ぶ場合が多い。それらはこれまでの施設管理的な掲示物と一線を画して、利用者の直観的な理解に重点を置いてデザイン開発されている特徴をもっている。

公共サインとは道路や公共施設など人々に開かれた空間において、人々の自由で快適な行動を支援するための情報源のことである。人々が負担なく行動するには公共空間上に情報がわかりやすく提供されていることが必要で、そうした情報源をつくり出すことがこの公共サイン整備の基本的な目的である。

本市では今日、増加傾向にある内外からの観光客誘致をさらに促進すること、また町村合併から 10 年余りを経て市全域の人的・景観的一体感をさらに醸成することが、行政上の課題として指摘されている。そこで市内の公共サインのスタイルを統一的に一新し、これらに貢献することが施策上の目的になる。

1.2 本ガイドラインの適用範囲

サインには一般に宣伝用、案内用、規制用などの掲出目的があるが、この公共サインが対象としているのは案内、誘導などにかかわる「案内のためのサイン」である。

本ガイドラインの適用範囲は、道路や公共施設敷地内に安曇野市が設置する観光地および公共施設の道案内に関するサインとする。民間用地内においても本ガイドラインに沿って道路上と連続的な案内を行うことが望ましい場合、これを活用する。

具体的には下表のとおり。

適用範囲内	・ 標識令による道路標識のうち「著名地点」(114-A、114-B)
	・ 市が道路、駅前広場、公園、公共施設内に設置・管理する道案内用サイン
	・ 市が民間用地内に設置を要請する道案内用サイン
適用範囲外	・ 上記以外の道路標識
	・ 鉄道駅、公園、公共施設において当該施設利用上必要な案内・規制等のサイン
	・ 市が広報上必要と判断して設置するサイン

1.3 サイン分類用語の根拠

公共案内サインは慣例的に、誘導サイン／記名サイン／案内サイン等に分類して指針等が示されることが多かったが、同じ「案内」という用語が全体と部分で異なる定義で用いられている、そもそも「案内」の意には「誘導」も含まれる、名称を記す表現様式はどのサインにおいても共通など、その用語概念のあいまいさが指摘されていた。

この問題を解決するために、国土交通省は平成 17 年 6 月に策定した『観光活性化標識ガイドライン』で、「案内標識は指示標識、同定標識及び図解標識に分けられ、目的に応じて使い分ける必要がある」と整理した。

本ガイドラインは国土交通省によるガイドラインの分類定義にしたがって、「指示サイン」「同定サイン」「図解サイン」の用語を用いて記述する。

2. 公共サイン整備の方針

2.1 計画設計の基本的な考え方

安曇野市の公共サインを計画設計するにあたって、基本的な考え方は以下のとおりである。

①整備の目的を的確に踏まえる

この公共サインを整備する目的は、本市を訪れる観光客の旅行が一層楽しくなるよう、また一般市民の暮らしが一層円滑になるよう、見やすくわかりやすく、移動のモチベーションが高まるような道案内情報を提供することである。

②開かれた視界をできるだけ維持する

安曇野は壮大な自然の景色が何よりの見所である。そうした眺望を楽しみたい観光客や市民の思いを大切にして、開かれた視界をできるだけ妨げない。

③安曇野にふさわしい色彩・素材を工夫する

安曇野の地の印象を壊さず、観光客に気持ちよくまちをめぐってもらうため、安曇野の四季の景観いづれにも調和する色彩・素材を工夫する。その考え方は器具からグラフィック表現に至るまで徹底させる。

④まちのたたずまいに似合う形状を工夫する

安曇野市庁舎や高橋節郎記念美術館など、近年整備されている公共施設は水平ラインが印象的で、また碌山美術館の天に延びる鐘楼はこの地のシンボルになっている。こうしたまちのたたずまいと整合の取れたシンプルでスマートな形状を工夫する。

⑤掲載情報の連続性を確保する

観光でまちめぐりをするにしても暮らしの中で何かの施設を訪れるにしても、円滑に移動できるためには案内されている情報を連続的にたどれることが必須条件である。この点に留意して、設置場所ごとの掲載情報を検討する。

⑥グラフィックの視認性に留意する

サインは設置されているだけでなく、必要な情報が見やすくわかりやすく表示されてはじめて効果を発揮できる。グラフィックの視認性に十分注意してデザインを検討する。

⑦器具の堅牢性及びメンテナンス性に留意する

屋外に設置する案内サインはとりわけ優れた耐久性を有し、またメンテナンスが容易であることが求められる。その点に十分留意して検討を進める。

2.2 系統とサイン種別の設定

この公共サインでは、観光客、一般市民それぞれのニーズに応えるため、システムとして以下の2つの系統を設定する。

観光系サインシステム	観光客のまちめぐりを支援するためのサインシステム
公共系サインシステム	一般市民の施設来訪を支援するためのサインシステム

上記それぞれのシステムは、ともに以下の3つのサイン種別によって構成する。

指示サイン	観光地・来訪施設等の方向を指示する標識
同定サイン	観光地・来訪施設等の位置を同定する標識
図解サイン	地点・施設などの位置関係を図解する標識

2.3 サイン種類ごとの配置原則

観光系・公共系共通に、サインの用途を自動車ドライバー用（以下「車両用」）、歩車兼用、歩行者用に区分する。車両用には遠距離から視認できる指示サインを、また歩車兼用には中距離から視認できる指示サインと同定サインを、さらに歩行者用には近距離から視認できる指示サインと図解サインを掲出して、掲載情報の連続性を確保する。

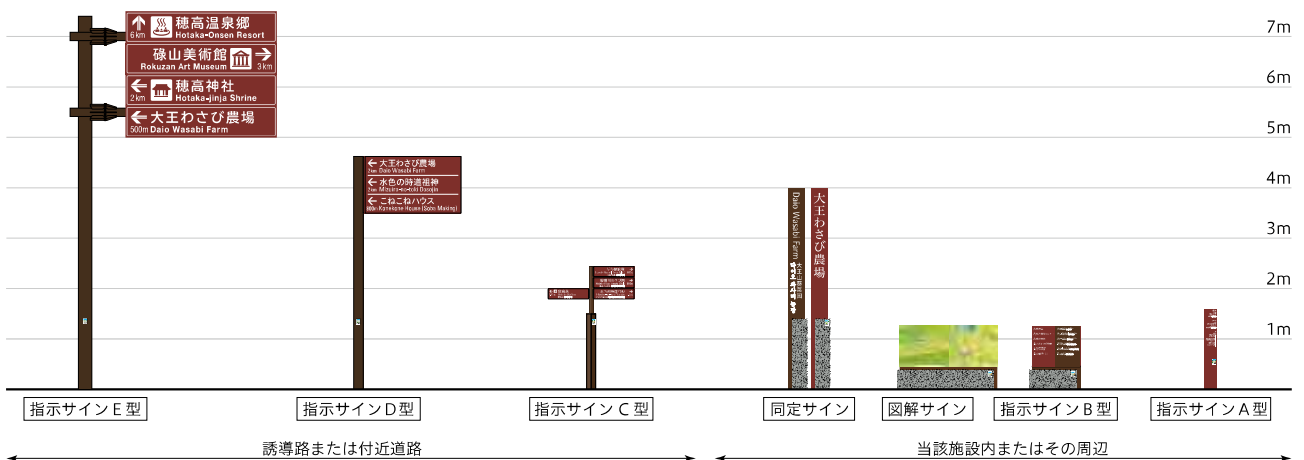
指示サインは視距離に応じた形状とする必要があるため、近距離視認用（小型）から遠距離視認用（大型）の順に A 型、B 型、C 型、D 型、E 型の計 5 種を設定する。それらサイン種類ごとの配置原則は下表のとおりとする。

用途	型式	配置原則
車両用	指示サイン E 型	観光系では本市への流入地点、公共系では来訪施設への右左折地点（車道上）
	指示サイン D 型	観光地または来訪施設への右左折地点（歩道上）
歩車兼用	指示サイン C 型	観光回遊単位内での右左折地点（路肩）
	同定サイン	観光地または来訪施設入口、遠方から見える向き（歩道上または敷地内）
歩行者用	図解サイン	観光地または来訪施設敷地内、入出場時に発見しやすい位置
	指示サイン B 型	観光地敷地内、入出場時に発見しやすい位置
	指示サイン A 型	限定的な地点間の移動経路上（歩道上または敷地内）

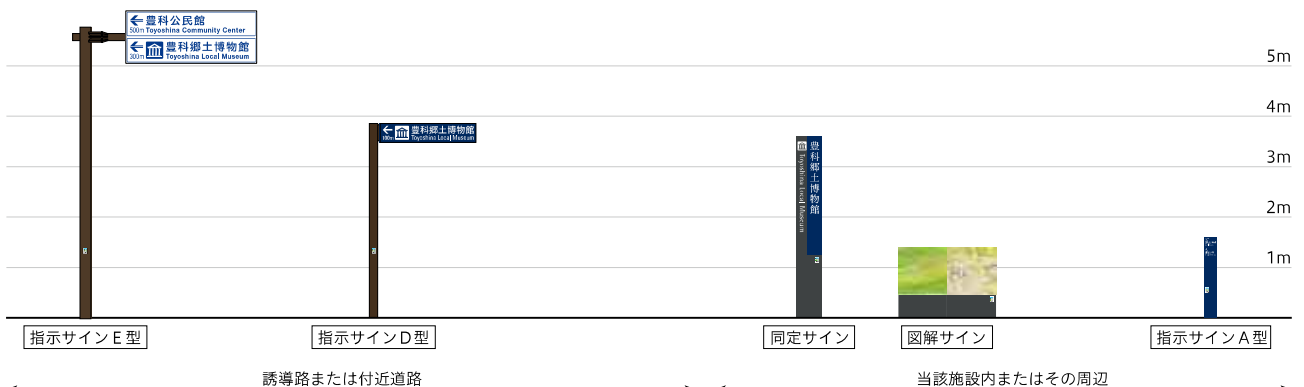
注) 観光地は市内全域に点在しているが、このガイドラインでは半日程度でひとめぐりできる行動範囲を観光上の回遊単位とみなしている。また公共系サインシステムで指示サイン B 型、C 型の設置は想定していない。

以下に観光系・公共系のサインシステムフロー図を示す。

■観光系サインシステム



■公共系サインシステム



S=1/150

3. 表記に関する基準

3.1 掲載情報の選択基準

観光系サインシステムでは、各サインの掲載情報の選択基準を下表のとおりとする。

サインの種類	掲載情報		
指示サイン E 型	安曇野市の代表的観光地である「大王わさび農場」と「安曇野穂高温泉郷」、及び穂高まちなかにおいて安曇野の代表的歴史資源である「穂高神社」と代表的観光地である「碓山美術館」の4情報に限定		
指示サイン D 型 指示サイン C 型 指示サイン B 型	下記のうち、サイン掲出位置と共通の回遊単位内にあるもの		
	行動起点	「穂高駅」のみ	
	観光名所	安曇野市観光アンケート調査及び長野県観光地利用者統計の対象である施設・地点	
		あづみ野周遊バスが停車する観光名所	
		上記のほか市が必要と判断する観光名所	
	文化施設	安曇野アートラインに加盟している美術館・博物館	
		上記のほか市のホームページに掲載されている美術館・博物館	
	公園	1 ha を超える都市公園	
上記のほか市が必要と判断する条例公園			
温泉・入浴施設	市のホームページに掲載されている温泉・入浴施設		
指示サイン A 型	鉄道駅と特定美術館の間など、限定的な地点間で市が必要と判断する施設		
同定サイン	上記観光系施設のうち、市が必要と判断する施設・地点		
図解サイン	別表 1. に示すとおり		

公共系サインシステムでは、旧町村の中心地であった穂高市街地、明科市街地、豊科市街地、堀金市街地、三郷市街地を重点整備エリアとして位置づけ、各サインの掲載情報の選択基準を下表のとおりとする。

サインの種類	掲載情報	
指示サイン E 型 指示サイン D 型	下記のうち、サイン掲出位置と共通の市街地内にあるもの	
	市役所庁舎	市役所本庁舎及び支所
	体育施設	複合施設である体育施設
	公民館	すべての公民館
	交流学習センター・図書館	すべての交流学習センター及び図書館
	医療施設	一般社団法人安曇野医師会所属の病院
	警察署	「安曇野警察署」
指示サイン A 型	鉄道駅と市役所の間など、限定的な地点間で市が必要と判断する施設	
同定サイン	上記公共系施設のうち、市が必要と判断する施設	
図解サイン	別表 2. に示すとおり	

3.2 表記言語の設定

本サインシステムの表記言語は、全市的に外国人の往来が想定されるので、すべて日本語、英語の2か国語とし、市外から訪れる人々が理解できる範囲内において、視覚言語である図記号（ピクトグラム）を併記する。

また近年、長野県を海外から訪れる観光客の6割程度がアジア圏であること、さらに観光庁のガイドライン^{※1}に、（英語以外の表記の必要性が高い施設では）案内サインに中国語、韓国語、その他の必要とされる言語の表記を行うことが望ましいと示されていることを踏まえて、観光系の歩行者用・歩車兼用の指示サイン（A・B・C型）、同定サイン、図解サインの下記表示項目では、日本語、英語、中国語（簡体字）、韓国語の4か国語表記を行う。

※1. 国土交通省観光庁『観光立国実現に向けた多言語対応の改善・強化のためのガイドライン』（平成26年3月）

なお本ガイドライン巻末付録に、サイン掲載用語一覧を示す。

カテゴリー	4か国語表示する項目
行動起点	鉄道駅、鉄道路線
観光案内所	安曇野市観光協会が運営する観光案内所
観光名所	安曇野市観光アンケート調査及び長野県観光地利用者統計の対象である施設・地点
	あづみ野周遊バスが停車する観光名所
避難場所	指定緊急避難場所に登録されている施設

3.3 図解サインに掲載する情報

観光系・公共系共通に、図解サインは市全域における施設等の分布状況を表示する広域図と、サイン設置場所付近の施設等の位置関係を表示する付近図の2種によって構成する。

また観光系と公共系では位置関係把握時に知りたい内容が異なるため、観光系図解サインと公共系図解サインを区分して整備する。

別表1. 及び別表2. に、観光系、公共系それぞれの図解サイン掲載情報の選択基準と表記言語を示す。

別表 1. 観光系図解サイン掲載情報の選択基準と表記言語

カテゴリー	観光地の広域図	観光地の付近図	表記言語
行動起点	鉄道駅及び鉄道路線名	鉄道駅及び鉄道路線名	4ヶ国語
	高速道路のインターチェンジ及び高速道路名	高速道路のインターチェンジ及び高速道路名	2ヶ国語
観光案内所	安曇野市観光協会が運営する観光案内所	安曇野市観光協会が運営する観光案内所	4ヶ国語
観光名所	安曇野市観光アンケート調査及び長野県観光地利用者統計の対象である施設・地点	安曇野市観光アンケート調査及び長野県観光地利用者統計の対象である施設・地点	4ヶ国語
	あづみ野周遊バスが停車する観光名所	あづみ野周遊バスが停車する観光名所	4ヶ国語
	市が必要と判断した観光名所	市が必要と判断した観光名所	2ヶ国語
文化施設	安曇野アートラインに加盟している美術館・博物館	安曇野アートラインに加盟している美術館・博物館	2ヶ国語
		上記のほか安曇野市ホームページに掲載されている美術館・博物館	
公園	1haを超える公園	1haを超える公園	2ヶ国語
	上記のほか市が必要と判断した公園	上記のほか市が必要と判断した公園	2ヶ国語
温泉・入浴施設	市のホームページに掲載されている温泉・入浴施設	市のホームページに掲載されている温泉・入浴施設	2ヶ国語
市役所庁舎	掲載しない	市役所本庁舎及び支所	2ヶ国語
体育施設	掲載しない	すべての体育施設	2ヶ国語
学校	掲載しない	すべての小・中・高等学校	2ヶ国語
公民館	掲載しない	すべての公民館及び集合施設	2ヶ国語
交流学習センター・図書館	掲載しない	すべての交流学習センター及び図書館	2ヶ国語
医療施設	掲載しない	一般社団法人 安曇野市医師会所属の病院	2ヶ国語
警察	掲載しない	警察署及び交番	2ヶ国語
避難場所	掲載しない	基準によって掲載され、指定緊急避難場所に登録されている施設	4ヶ国語
道路	国道番号、県道番号、主要地方道番号	国道番号、県道番号、主要地方道番号	数字
橋梁	一級河川に架かる 100m 以上の橋梁名 (図が煩雑になる場合は省略)	一級河川に架かる 50m 以上の橋梁名 (図が煩雑になる場合は省略)	2ヶ国語
河川	すべての一級河川 (図が煩雑になる場合は省略)	すべての一級河川 (図が煩雑になる場合は省略)	2ヶ国語

●表示情報の日本語表記について

『長野県公共案内標識整備指針』では日本語の表記について、「表示面の繁雑化を防ぐために、明確に理解される範囲内で省略できる部分を省略する。」と示されている。よって施設・地点名称に「安曇野」や「安曇野市」が含まれている場合は基本的にその部分を省略することとする。ただし、省くことで名称が似ている施設・地点と混同される可能性がある場合は残すこととする。

別表2. 公共系図解サイン掲載情報の選択基準と表記言語

カテゴリー	公共施設の広域図	公共施設の付近図	表記言語
行動起点	鉄道駅及び鉄道路線名	鉄道駅及び鉄道路線名	4ヶ国語
	高速道路のインターチェンジ及び高速道路名	高速道路のインターチェンジ及び高速道路名	2ヶ国語
観光案内所	掲載しない	掲載しない	—
観光名所	安曇野市観光アンケート調査及び 長野県観光地利用者統計の対象である施設・地点	安曇野市観光アンケート調査及び 長野県観光地利用者統計の対象である施設・地点	2ヶ国語
		あづみ野周遊バスが停車する観光名所	
		市が必要と判断した観光名所	
文化施設	安曇野市ホームページに 掲載されている美術館・博物館のうち 安曇野アートライン非加盟のもの	安曇野アートラインに加盟している美術館・博物館	2ヶ国語
		上記のほか安曇野市ホームページに 掲載されている美術館・博物館	
公園	1haを超える公園	1haを超える公園	2ヶ国語
	上記のほか市が必要と判断した公園	上記のほか市が必要と判断した公園	2ヶ国語
温泉・入浴施設	市のホームページに掲載されている温泉・入浴施設	市のホームページに掲載されている温泉・入浴施設	2ヶ国語
商業施設	掲載しない	店舗面積 5000㎡以上	2ヶ国語
市役所庁舎	市役所本庁舎及び支所	市役所本庁舎及び支所	2ヶ国語
商工施設	掲載しない	市が保有する商工施設	2ヶ国語
	掲載しない	安曇野市商工会の施設	2ヶ国語
体育施設	複合施設である体育施設	すべての体育施設	2ヶ国語
学校	高等学校	すべての小・中・高等学校	2ヶ国語
公民館	すべての公民館	すべての公民館	2ヶ国語
子育て施設	掲載しない	すべての認定こども園と児童館	2ヶ国語
交流学习センター ・図書館	掲載しない	すべての交流学习センター及び図書館	2ヶ国語
医療施設	一般社団法人 安曇野市医師会所属の病院	一般社団法人 安曇野市医師会所属の病院	2ヶ国語
保健センター	掲載しない	すべての保健センター	2ヶ国語
福祉施設	掲載しない	市が保有する福祉施設	2ヶ国語
	掲載しない	その他の福祉施設（都市計画図に表記のあるもの）	2ヶ国語
警察	警察署	警察署及び交番	2ヶ国語
消防署	掲載しない	すべての消防署	2ヶ国語
郵便局	掲載しない	すべての郵便局	2ヶ国語
避難場所	掲載しない	基準によって掲載され、 指定緊急避難場所に登録されている施設	4ヶ国語
道路	国道番号、県道番号、主要地方道番号	国道番号、県道番号、主要地方道番号	数字
橋梁	一級河川に架かる 100m 以上の橋梁名 （図が煩雑になる場合は省略）	一級河川に架かる 50m 以上の橋梁名 （図が煩雑になる場合は省略）	2ヶ国語
河川	すべての一級河川（図が煩雑になる場合は省略）	すべての一級河川（図が煩雑になる場合は省略）	2ヶ国語
その他	広い敷地があるなど地点認識に有効となる施設	広い敷地があるなど地点認識に有効となる施設	2ヶ国語

4.1 書体と文字高の設定

(1) 同定サイン及び指示サイン A 型・B 型・C 型の書体

歩行者用・歩車兼用のこのグループのサインには、安曇野のまちに似合う雰囲気を持つ下記書体を使用する。

日本語：ヒラギノ UD 明朝 (W4) *1

安曇野わさび田湧水群

英語：Rotis SemiSans (55) *1

Azumino Fresh Spring

中国語：华文黑体

安曇野山葵田湧水群

韓国語：MP SDMyungjoKo2 (Light、文字高×2/100mm 太加工) *2

와사비밭샘터

*1 視認性を確保するため、文字高をゴシック体の場合より大きめに設定する。

*2 「太加工」とは、文字の輪郭を一定の太さの線で描くデジタル処理を行って、オリジナルフォントより太めのストロークを得る方法を指す。

■文字高比率



■トラッキングの指定 *4

日本語 漢字：0 ひらがな：-50 カタカナ：-120

英語：20

中国語：10

韓国語：10

国営アルプスあづみの公園
Alps Azumino National Government Park
阿尔卑斯安曇野国营公园 국영 알프스 아즈미노 공원

安曇野穂高温泉郷
Azumino Hotaka-Onsen Resort
安曇野穂高温泉郷 아즈미노 호타카온 천마을

*4 「トラッキング」とは、複数の文字間に均一なスペースを挿入する操作を指す。

(2) 図解サインの書体

図解サインは表示項目が多く、小さな文字を用いることになるため、視認性に配慮して下記書体を使用する。日本語のUDフォントは、字形の弁別性や読みやすさに重点を置いて、近年開発された書体である。

日本語：ヒラギノUD角ゴ (W5)

安曇野わさび田湧水群

英語：Univers (57 Condensed)*3

Azumino Fresh Spring

中国語：冬青黒体簡体中文 (W3、文字高×1.5/100mm 太加工)

安曇野山葵田湧水群

韓国語：Apple SD 산돌고딕 Neo 일반체 (文字高×1/100mm 太加工)

와사비밭샘터

*3 コンデンス体の選択は、英文つづり幅を抑えるための配慮である。

■文字高比率



■トラッキングの指定

日本語 漢字：0 ひらがな：-80 カタカナ：-130

英語：0

中国語：20

韓国語：20

国営アルプスあづみの公園
Alps Azumino National Government Park
阿尔卑斯安曇野国营公园 국영 알프스 아즈미노 공원

安曇野穂高温泉郷
Azumino Hotaka-Onsen Resort
安曇野穂高温泉郷 아즈미노 호타카온 천마을

(3) 指示サインD型の書体

車両用の指示サインD型は視認性が最優先されるため、図解サインと同様に、下記書体を使用する。

日本語：ヒラギノ UD 角ゴ (W5)

豊科郷土博物館

英語：Univers (57 Condensed)

Toyoshina Local Museum

■文字高比率



■トラッキングの指定

日本語 漢字：0 カタカナ：-130

英語：0

三郷交流学習センター
Misato Learning Center

(4) 指示サインE型の書体

指示サインE型は道路標識の一環として整備するため、標識令に定められた書体を使用する。具体的には「道路案内標識文字の表示基準（案）」（関東地方整備局）に示されている下記のとおりとする。

日本語	観光系	丸ゴシック体（ナールD）
	公共系	丸ゴシック体（ナールDB）
ローマ字	観光系／公共系共通	ヘルベチカ・デミボールド
数字	観光系／公共系共通	ヘルベチカ・デミボールド

なお基準（案）の解説には、「（市場には標識文字に近似した書体が出現しているが）書体の統一を図る上から、近似した書体など標識文字以外の書体を用いてはならない」と示されている。

本ガイドラインでは標識文字を入手することが困難なため近似書体を用いて表すが、実際の施工時には、一般社団法人全国道路標識・標示業協会会員会社など、標識文字データを所有する事業者に発注する必要がある。

(5) 文字高設定の考え方

1) 判断根拠

案内サインに用いる文字の大きさの目安が長野県の整備指針に示されているが（表 1）、和文文字高下限値が視距離 1～7m で 5mm、30m で 100mm など、近年のバリアフリー対応サイン設計指針と大きく異なるため、本ガイドラインでは公共交通機関旅客施設のガイドラインに基づいて文字高を設定する（表 2、注：この表はゴシック体使用を前提としている）。

なお同ガイドラインは、平成 12 年にいわゆる交通バリアフリー法が施行されたことに伴い、国土交通省が交通エコロジー・モビリティ財団に事務局を置き、従前ガイドラインの抜本的見直しを行ったもので、その後二度の改訂を経て今日に及んでいる（同表は平成 13 年から継続して掲載されている）。

また道路標識の分野では、昭和 62 年以来全国の標識で用いる文字高及び拡大率が標識令とそれに基づく基準、同解説に示されている（表 3 にその一部をまとめた）。

表 1. 県指針による文字の高さの目安

出典：長野県公共案内標識整備指針（平成 27 年 3 月改正）別表第 4

情報の種類	移動速度	視認距離	文字の高さ（和文）
歩行者用	低速移動～停止	1～7m	5mm 以上
歩車共用	中速移動	30～50m	100～150mm
車両用	高速移動	65～100m	200～300mm

表 2. 公共交通機関旅客施設のサインシステムに用いる文字の大きさの選択の目安

出典：（公財）交通エコロジー・モビリティ財団発行 公共交通機関の旅客施設に関する移動等円滑化整備ガイドライン（平成 25 年 10 月）

視距離	和文文字高	英文文字高
30m の場合	120mm 以上	90mm 以上
20m の場合	80mm 以上	60mm 以上
10m の場合	40mm 以上	30mm 以上
4～5m の場合	20mm 以上	15mm 以上
1～2m の場合	9mm 以上	7mm 以上

表 3. 一般道路案内標識「方面、方向及び距離」等の文字等の基本寸法

出典：（社）日本道路協会発行 道路標識設置基準・同解説（昭和 62 年 1 月改訂、平成 23 年 3 月第 26 刷）

設計速度	漢字の大きさ （文字の大きさ）	拡大率標準値（ ）は通行量が多い場合	
		片側 2 車線以上	片側 1 車線
70km/h 以上	30cm（基準値）	1.0（1.5）	1.0
40, 50, 60km/h	20cm（基準値）	1.5（2.0）	1.5（2.0）
30km/h 以下	10cm（基準値）	1.5（2.0）	1.5（2.0）

2) サイン種類ごとの文字高の想定

サインの文字高は以下の要素などを総合的に勘案して設定する必要がある。

- ・ 視距離（サインと視認者の離隔距離）
- ・ サイン表示面の向き（移動する人の視線と対面しているか平行する向きか）
- ・ 掲出高さ（見上げ位置に置くか見下げ位置に置くか）
- ・ 書体の特徴（明朝体はゴシック体の1割増程度の大きさが必要など）
- ・ 表示面の色彩対比と輝度対比

本ガイドラインでは、以下の考え方のもとに数値を設定する（数値は和文ゴシック体の場合）。

- ① 対面配置の歩行者用指示サインは、接近段階で内容を読めるように、視距離 5m 程度・文字高 20mm 以上とする。
- ② 平行配置の歩行者用指示サインは、サインの存在を気づきやすくするため、視距離 7～8m 程度・文字高 30mm 以上とする。
- ③ 車両用指示サインは、道路標識の基準に従って文字高 100mm 以上とする。
- ④ 歩車兼用指示サインは、低速運転中の車両の中からも視認できるように、視距離 15m 程度・文字高 60mm 以上とする。
- ⑤ 同定サインは、目標地に接近中の車両の中から、あるいは歩行者が遠方から視認できるように、視距離 40～50m 程度・文字高 160～200mm 以上とする。
- ⑥ 図解サイン中の表記は、高齢者の視認にも備えて、できるだけ 10mm 以上を確保する。

4.2 ピクトグラムの設定

言語上多様な観光客の理解を高めるため、また文字列をとらえやすくする補助手段として、ピクトグラムを用いる。具体的には案内用図記号 JIS Z 8210 : 2017 において規定されているものを使用する。

① 温泉



② 公園



③ 博物館・美術館



④ 歴史的建造物



⑤ 鉄道駅



⑥ 案内所



⑦ 公衆トイレ



⑧ 警察署・交番



⑨ 病院



⑩ 駐車場



*1

*1 駐車場のピクトグラムについて、2017年7月にISO図記号と同一とする改訂が図られたが、従来と同一サイズに表示する場合、広く認知されている(2001年現在理解度97.9点)「P」部分の視認性が著しく後退するため、「P」と「自動車」の比率を調整した。

なお不特定多数の利用者が理解できない私製のピクトグラムは用いないこととする。
この規定により使用を中止するものに、以下の例などがある。



次頁に案内用図記号 JIS Z 8210 : 2017 の一覧を示す。

参考：案内用図記号 JIS Z 8210:2017 に規定されているピクトグラム一覧 (平成 29 年 7 月 20 日改正)

*1 通貨記号差し替え可 *2 文字による補助表示が必要 *3 平成 31 年 7 月 20 日をもって削除すると注記あり *4 他の言語または国旗に差し替え可

■公共・一般施設

案内、案内所、病院、救護所、警察、お手洗、男性、女性、障害のある人が使える設備、スロープ、飲料水、喫煙所、チェックイン/受付、忘れ物取扱所

ホテル/宿泊施設、きつぷうりば/精算所、手荷物一時預かり所、コインロッカー、休憩所/待合室、ミーティングポイント、銀行・両替、キャッシュサービス、郵便、電話、ファックス、カート、エレベーター、エスカレーター

上りエスカレーター、下りエスカレーター、階段、ベビーケアルーム、乳幼児用設備、クローク、更衣室、更衣室(女性)、シャワー、浴室、水飲み場、くず入れ、リサイクル品回収施設、高齢者優先設備

障害のある人・けが人優先設備、内部障害のある人優先設備、乳幼児連れ優先設備、妊産婦優先設備、高齢者優先設備、障害のある人・けが人優先設備、内部障害のある人優先設備、乳幼児連れ優先設備、妊産婦優先設備、ベビーカー、無線 LAN、充電コーナー、自動販売機、海外発行カード対応 ATM

オストメイト用設備/オストメイト

■交通施設

航空機/空港、鉄道/鉄道駅、船舶/フェリー/港、ヘリコプター/ヘリポート、バス/V/Rのりば、タクシー/タクシーのりば、レンタカー、自転車、ロープウェイ、ケーブル鉄道、駐車場、駐車場、出発、到着

乗り継ぎ、乗り継ぎ、手荷物受取所、手荷物受取所、税関/荷物検査、出国手続/入国手続/検疫/書類審査、駅事務室/駅係員、一般車、レンタサイクル/シェアサイクル

■商業施設

レストラン、喫茶・軽食、バー、ガソリンスタンド、会計、コンビニエンスストア

■観光・文化・スポーツ施設

展望地/前橋地、陸上競技場、サッカー競技場、野球場、テニスコート、海水浴場/プール、スキー場、キャンプ場、温泉、温泉、コミュニケーション 靴を脱いでください イヤホンガイド

■安全

消火器、非常電話、非常ボタン、広域避難場所、避難所(建物)、津波避難場所、津波避難ビル、列車の非常停止ボタン

■禁止

一般禁止、禁煙、火気厳禁、進入禁止、駐車禁止、自転車乗り入れ禁止、立入禁止、走るな/かけ込み禁止、さわらな、捨てるな、飲めない、携帯電話使用禁止、電子機器使用禁止、撮影禁止

フラッシュ撮影禁止、ベビーカー使用禁止、遊泳禁止、キャンプ禁止、ホームドア：たてかけない、ホームドア：乗り出さない

■注意

一般注意、障害物注意、上り段差注意、下り段差注意、滑面注意、転落注意、天井に注意、感電注意、津波注意(津波危険地域)、土石流注意、崖崩れ・地滑り注意、ホームドア：手を抜かないように注意

■指示

一般指示、静かに、左側に立ちください 右側に立ちください、一列並び、二列並び、三列並び、四列並び、矢印、シートベルトを締める

■災害種別一般

洪水/内水氾濫、土石流、津波/高潮、崖崩れ・地滑り、大規模な火事

■洪水・堤防案内

洪水、堤防

■附属書 JA (参考)

店舗/売店、新聞・雑誌、薬局、理容/美容、手荷物託記、公園、博物館/美術館、歴史的建造物1、歴史的建造物2、歴史的建造物3、自然保護、スポーツ活動、スカッシュコート、スキーリフト

腰掛け式リフト、非常口、飲食禁止、ペット持ち込み禁止、安全バーを閉める、安全バーを開ける、スキーの先を上げる

4.3 色彩の設定

(1) 観光系サインの本体色

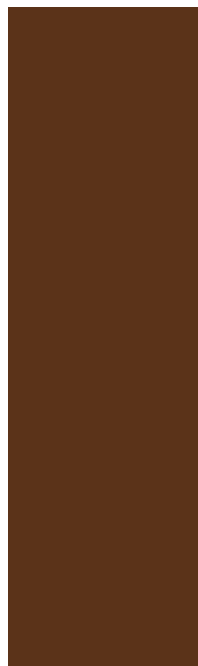
現地での景観色彩調査や安曇野市観光協会ホームページに掲載されている四季の風景から、安曇野の印象的な色彩を抽出し、観光系サイン本体に用いる「安曇野にふさわしい色彩」を以下のように設定する。



安曇野の印象的な色彩と調和し、
景観の中で一定の誘目性を持つ2色を選定



海老茶色
日塗工：H 07-30L



栓皮色
日塗工：H 15-30B

図解サインのマップは安曇野の地に見られる”豊かな緑色”を念頭に緑のグラデーションを表現する。



水色、緑のグラデーション色

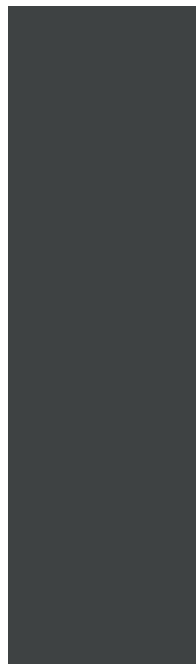
主張色(海老茶色)と同系補助色(栓皮色)の2色を用いることで、サインが単調になることを避け、景観構成要素としてとけ込ませる。

(2) 公共系サインの本体色

公共系サイン本体では、道路標識著名地点（114系）の指定色（青）と同系色の中から“湧水の奥行感”をイメージした下記色彩を設定する。また、同定サインなどで用いる主張色を補助する色彩として、無彩色のチャコールグレーを定める。



紺色
日塗工：H 77-20L



チャコールグレー
日塗工：H N-30

4.4 形状・素材の設定

(1) 基本方針

観光系・公共系サインのうち当該観光地・公共施設に設置する同定・図解・指示各サインの形状は、安曇野市内の景観や建築物などとの調和を踏まえ、まちのたたずまいに似合うよう以下の方針で設定する。



開かれた道路景観

開かれた景観をできるだけ妨げたくない。



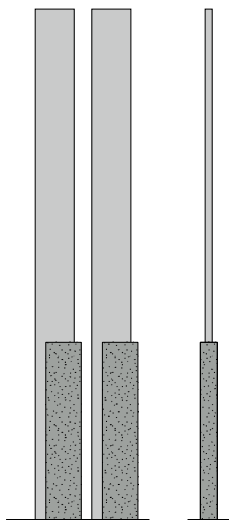
天に延びる鐘楼

天に延びる形がとりわけ印象的である。



建築物の長い水平ラインと大きな切妻屋根

まちなかの主要施設はモダンデザインである。

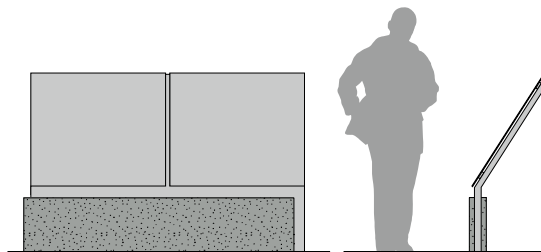


まちのたたずまいに似合う形状

視界を塞がず、すっとしてスマートなフォルムを工夫する。

堅牢性を担保するため、器具の構造材及び表面材はステンレス製とする。

主要地点のサインには、大地とのつながりを表現するため、市内各所に見られる道祖神と同じ花崗岩を用いた基壇を設ける。



点在する道祖神

(2) 形状設定の考え方

1) 判断根拠

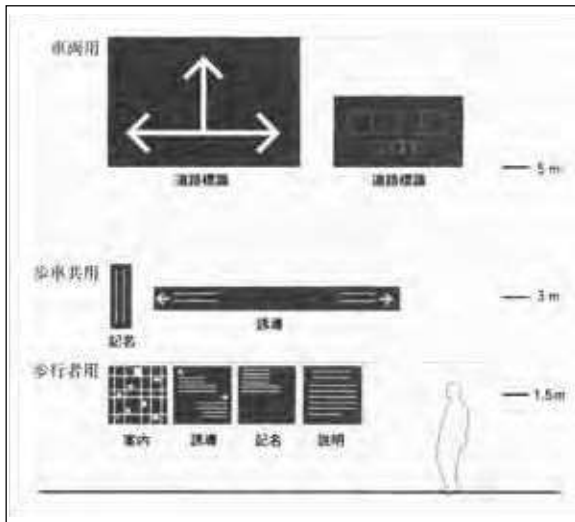


図1. 表示の要素ごとの本体高さの目安

出典：長野県公共案内標識整備指針（平成27年3月改正）別表第2

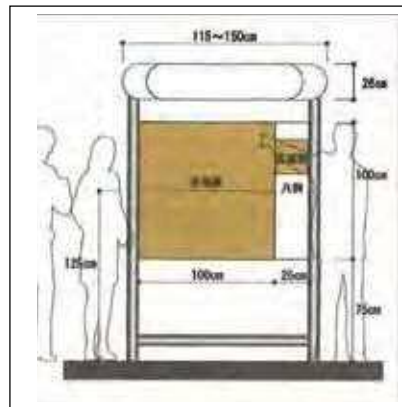


図2. 案内標識の掲出高さの例

出典：改訂版 道路の移動等円滑化整備ガイドライン
財団法人国土技術研究センター(平成20年1月)

図7-7

図1は、県指針に示されているサイン本体の掲出高さの目安である。図2は、歩行者及び車いす使用者が共通して見やすい高さとなるよう、平成15年に道路の移動円滑化整備ガイドラインで示された地図標識掲出高さの推奨図例である（平成20年改訂版移動円滑化整備ガイドラインにも収録）。

一方、前述の基本方針で「まちのたたずまいに似合う形状」が望ましいと整理し、視界を塞がず、すっきりしてスマートなフォルムを工夫することにした。

上記を総合的に勘案しつつ、以下の考え方で形状を設定する。

2) 種類ごとのサイン形状の想定

- ①歩車道境界に平行配置する歩行者用指示サインB型及び図解サインは、それらが視界を塞ぐことがないよう配慮するとともに、車いす使用者も読みやすいようスラント(傾斜)型を想定し、器具高さ1250~1400mm程度、地図の大きさ1m角以内の形状とする。
- ②歩道端部に対面配置する歩行者用指示サインA型は、歩行者の通行を妨げないよう器具横幅寸法をできるだけ抑え、300mm以内に収まる形状とする。
- ③路側型対面配置の同定サインは、長野県の指針に従って、文字表示高さ3m程度を想定する。また、日本語と外国語それぞれの表示面を分離してすき間を確保するなど、視界を塞がない形状とする。
- ④同定サイン及び図解サイン、指示サインB型には、景観スケールとの対応関係から、サイズや傾斜角度にバリエーションを設ける。

(3) 製作仕様

1) 材料

- ①屋外設置型のサインは、風雨にさらされ衝撃を受ける可能性も高いため、その構造材及び表面加工材は、優れた耐食性・耐候性を有し、加工硬化性も大きいステンレスを使用する。
- ②表示面基板は高剛性を維持するため、3～5mm 程度の厚みを必要とする。ここでは軽量化を図るため、アルミ板を使用する。

2) 塗料及び塗装

- ①サイン本体に耐候性・耐久性に優れた塗膜性能を与えるため、塗装には熱硬化性フッ素樹脂系塗料を用いる（アクリル樹脂系、シリコン樹脂系塗料よりも耐候性・耐久性に優れる）。
- ②アルミ製表示面基板の塗装は、ウレタン樹脂系、シリコン樹脂系、フッ素樹脂系の塗料がメーカーから推奨されているので、それに従う。
- ③塗装仕上げは全サイン共通に三分艶とする。

3) 表示面加工素材及び仕上げ

- ①同定サイン及び指示サイン A 型・B 型・C 型の文字加工は、車両のヘッドライトで光を反射する反射シートによる切抜き文字を貼付する。情報更新が容易に行えるという観点からも切抜き文字が望ましい。
- ②指示サイン D 型・E 型は道路標識と同様に、車両のヘッドライトにより全面が明るく照らし出される高輝度反射シート（3M スコッチライト同等品）に透明インク・シルク印刷仕上げとする。
- ③図解サインは、多色のグラフィックであるため、出力シートへの印刷とする。また色の変化を防ぐため、紫外線をカットする保護シートを併用する。

(4) 銘板の仕様

本ガイドラインで整備するサインには情報源のクレジットとして安曇野市が定めている「朝が好きになる街 安曇野ロゴマーク」銘板を貼付する。



表示内容 及び使用色彩	安曇野市制定「朝が好きになる街 安曇野ロゴマーク」 使用書体・色彩は『安曇野市ロゴマーク 使用マニュアル』による。
構造・材料等	アルミ板 3t・インクジェットプリント・EB コート仕上げ（株式会社コトブキ同等品）／アルミ板裏面に足付け・ 接着止め

5. 観光系サインシステム

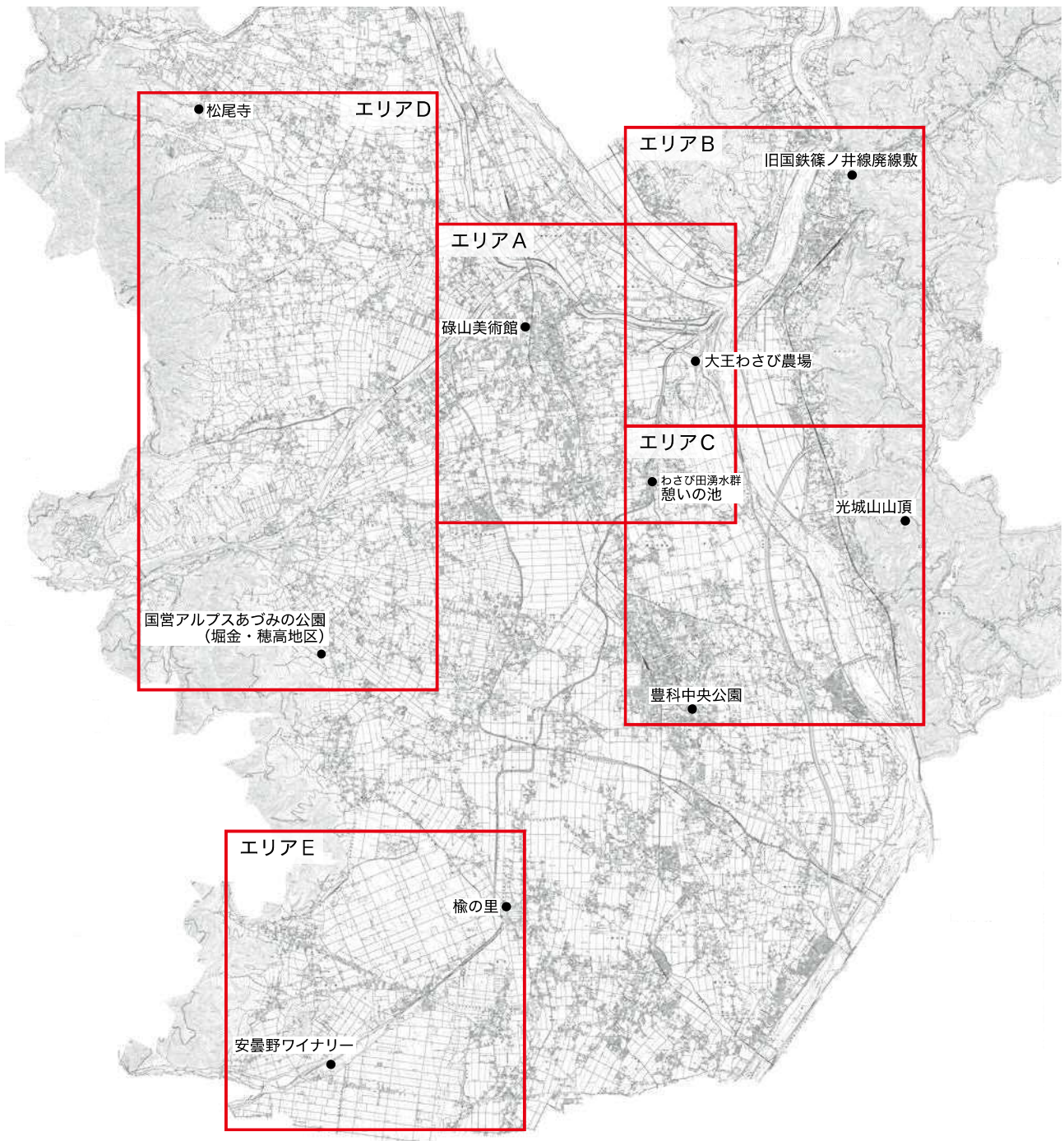
5.1 整備箇所の想定

(1) 重点整備エリア

下記の5つの範囲を観光系サインシステムの重点整備エリアとし、ほかに他地域から本市への流入地点となる観光地への主要な誘導路上に指示サインE型の設置を想定する。

- ①エリアA：碌山美術館～大王わさび農場
- ②エリアB：大王わさび農場～旧国鉄篠ノ井線廃線敷
- ③エリアC：憩いの池～光城山山頂
- ④エリアD：松尾寺～国営アルプスあづみの公園
- ⑤エリアE：楡の里～安曇野ワイナリー

エリアA・B・C・Eは共通に約4.2km四方、エリアDは約4.2×8.4kmの広さがあり、それぞれ観光上の回遊単位である。



S=1/90,000

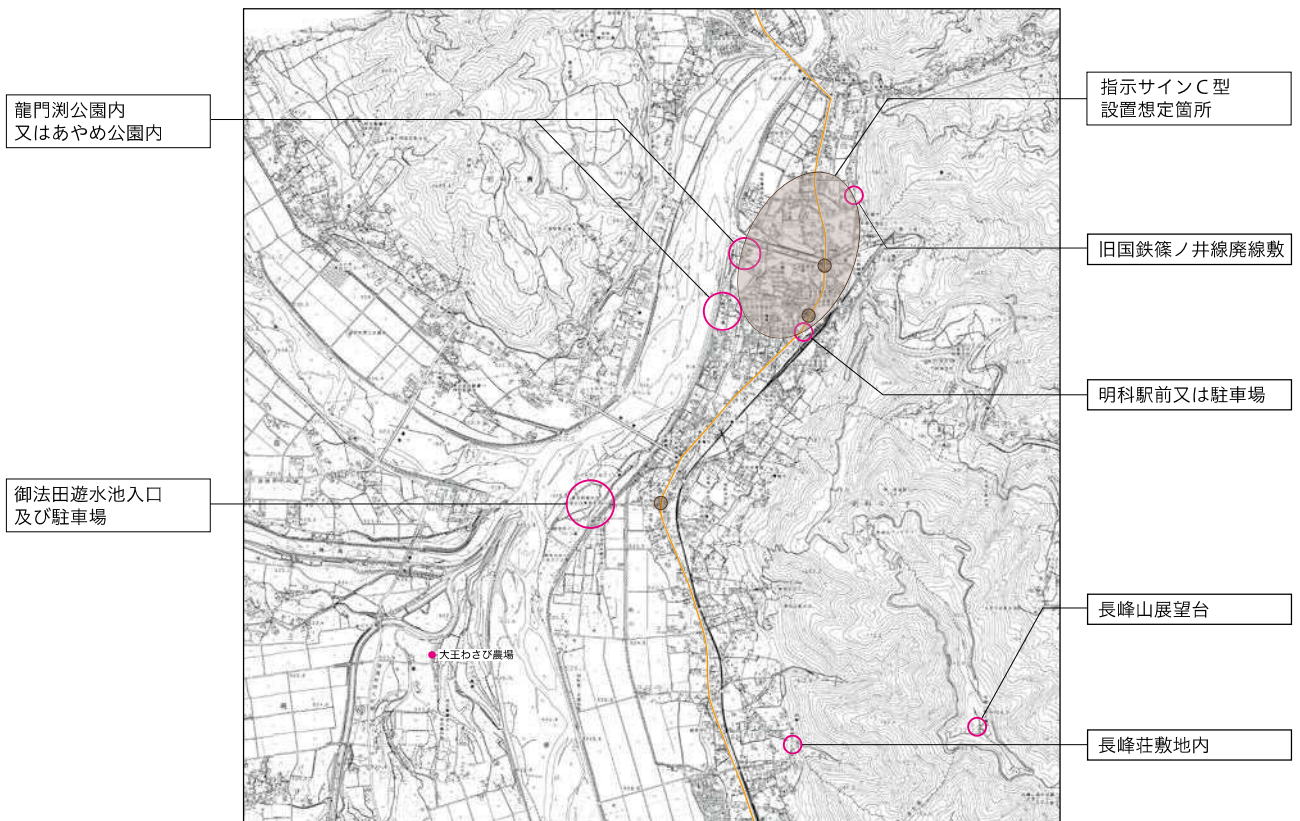
(2) エリア A の整備箇所想定

エリア A の整備箇所想定を下図に示す。(● は指示サイン D 型設置想定箇所。以下同)



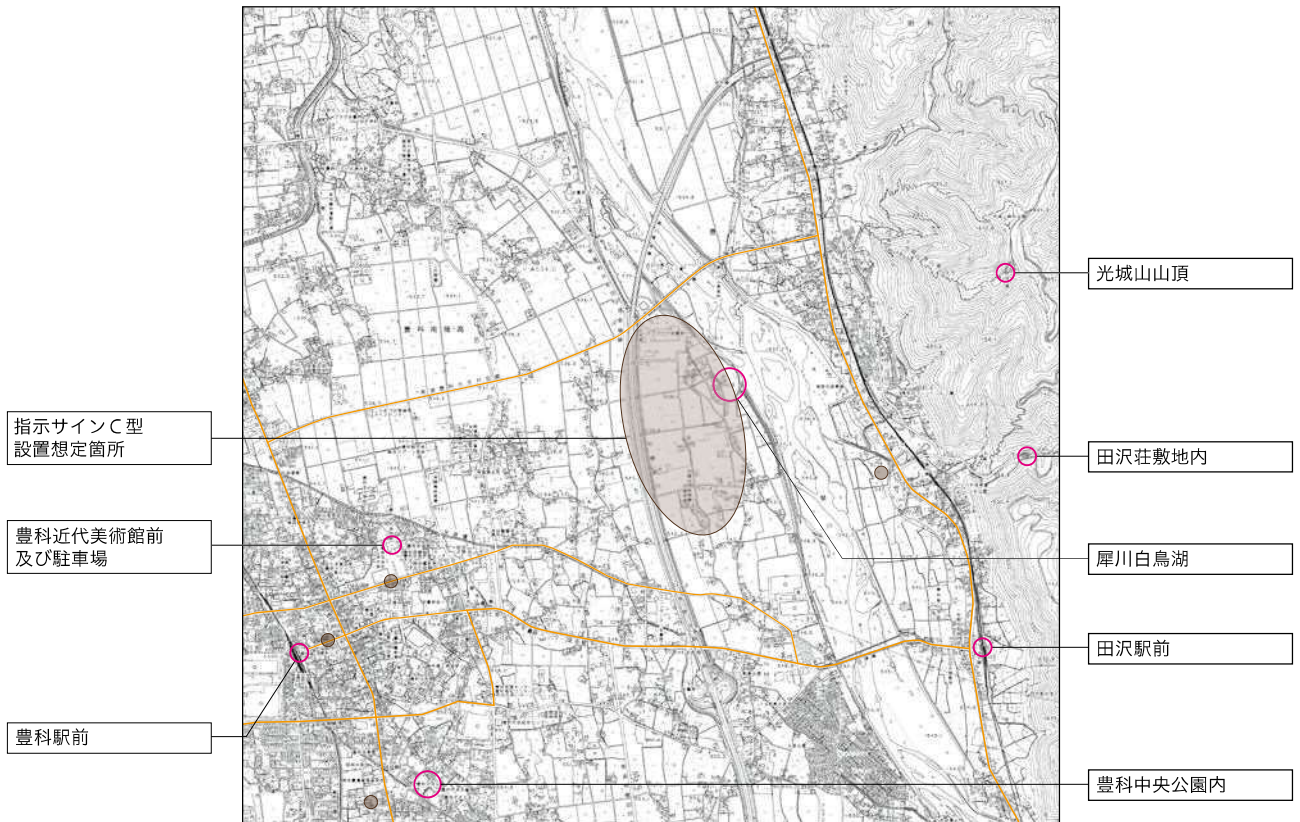
(3) エリア B の整備箇所想定

エリア B の整備箇所想定を下図に示す。



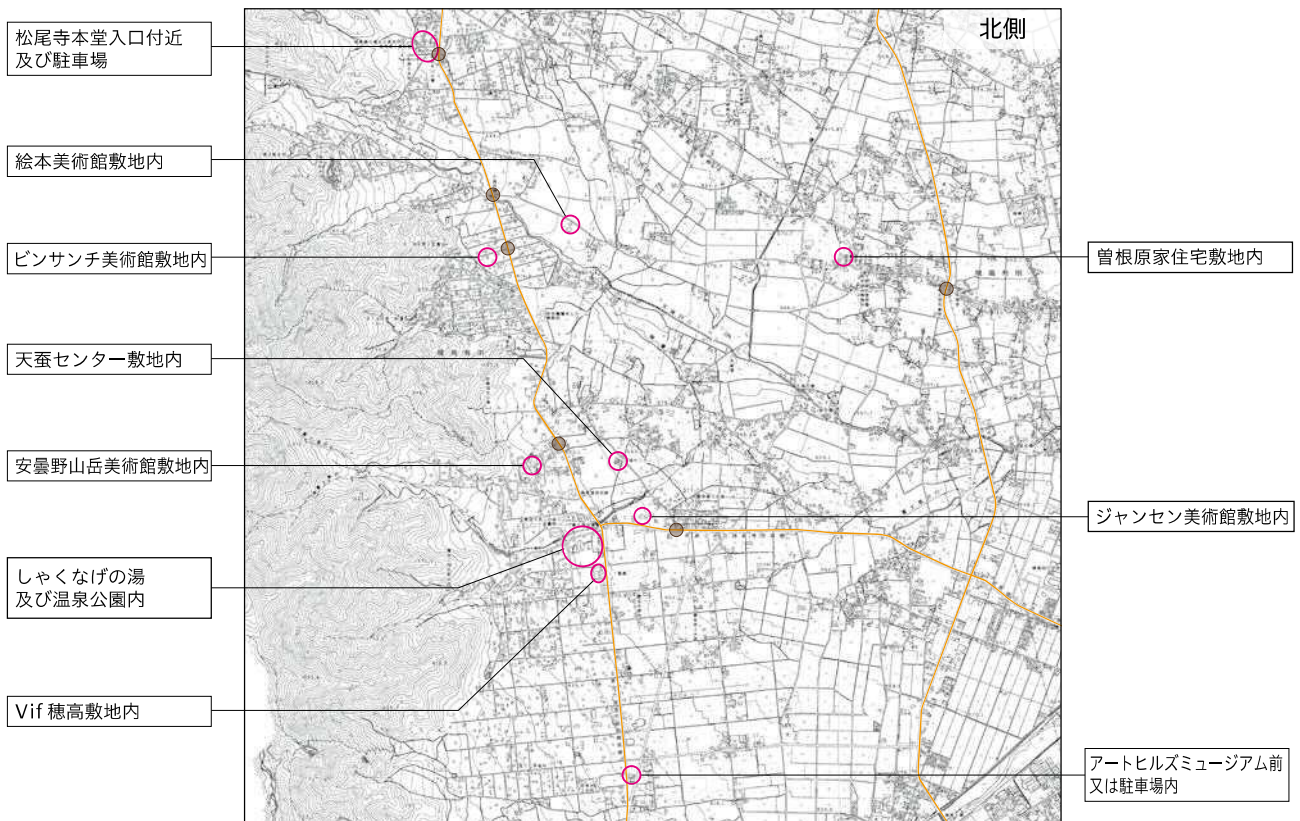
(4) エリアCの整備箇所想定

エリアCの整備箇所想定を下図に示す。



(5) エリアDの整備箇所想定

エリアD北側の整備箇所想定を下図に示す。

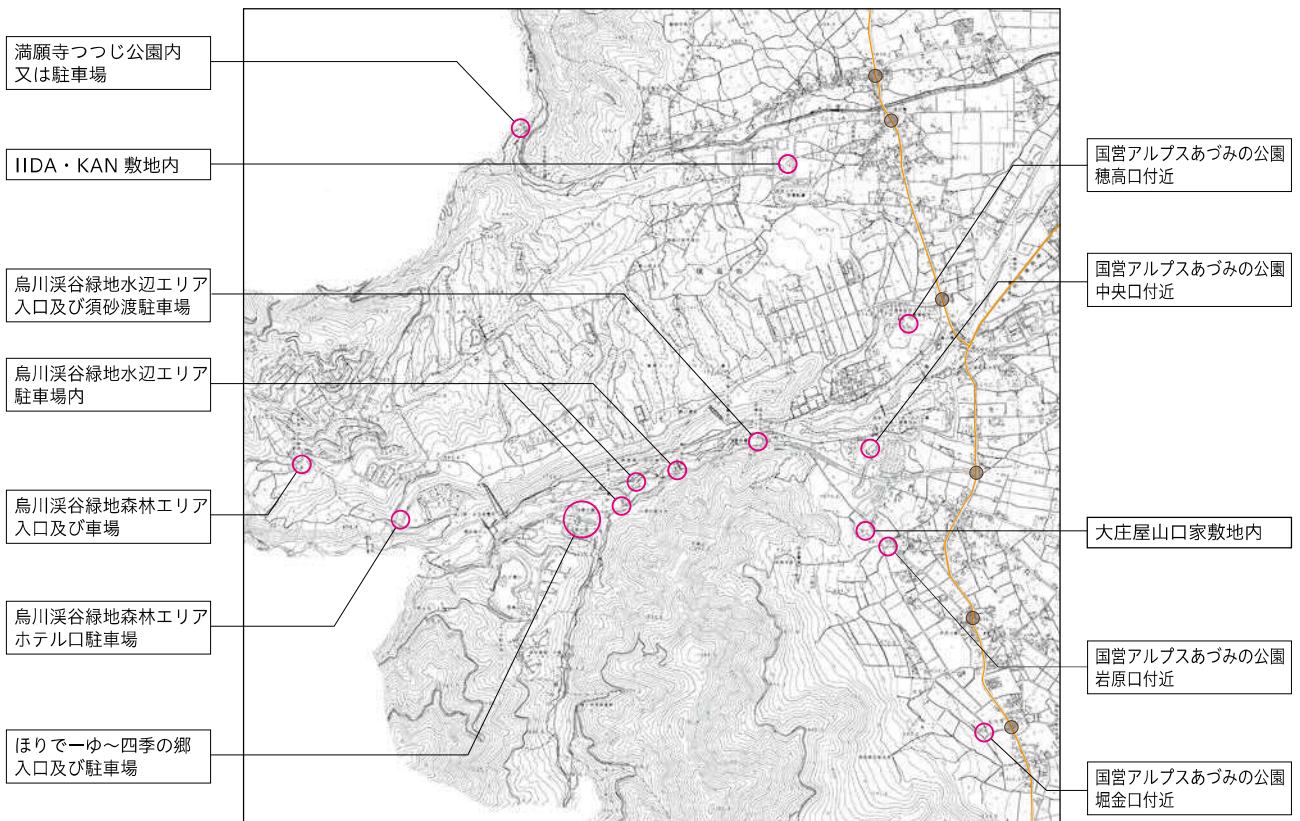


エリア D 南側の整備箇所想定を下図に示す。



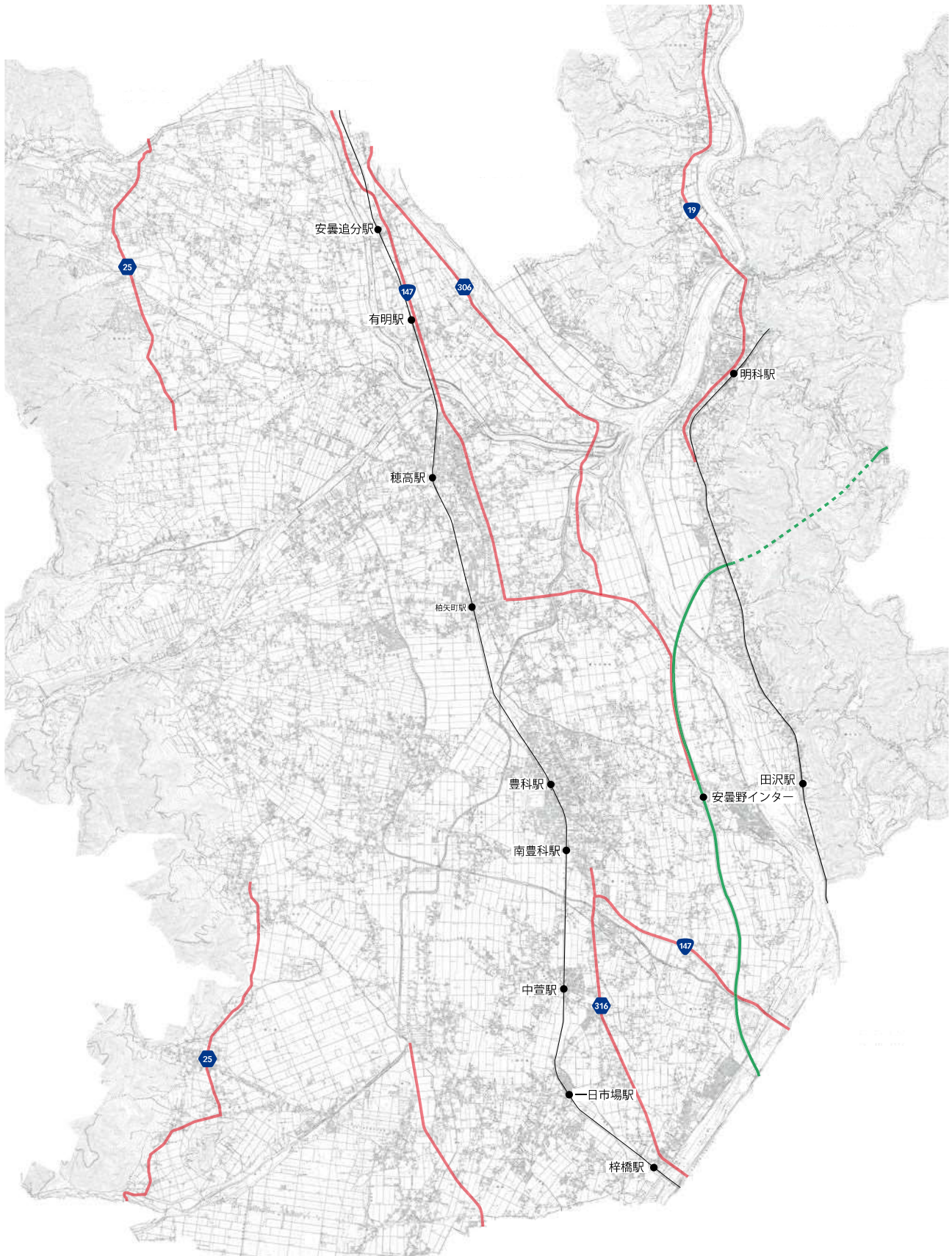
(5) エリア E の整備箇所想定

エリア E の整備箇所想定を下図に示す。



(7) 整備が想定される誘導路

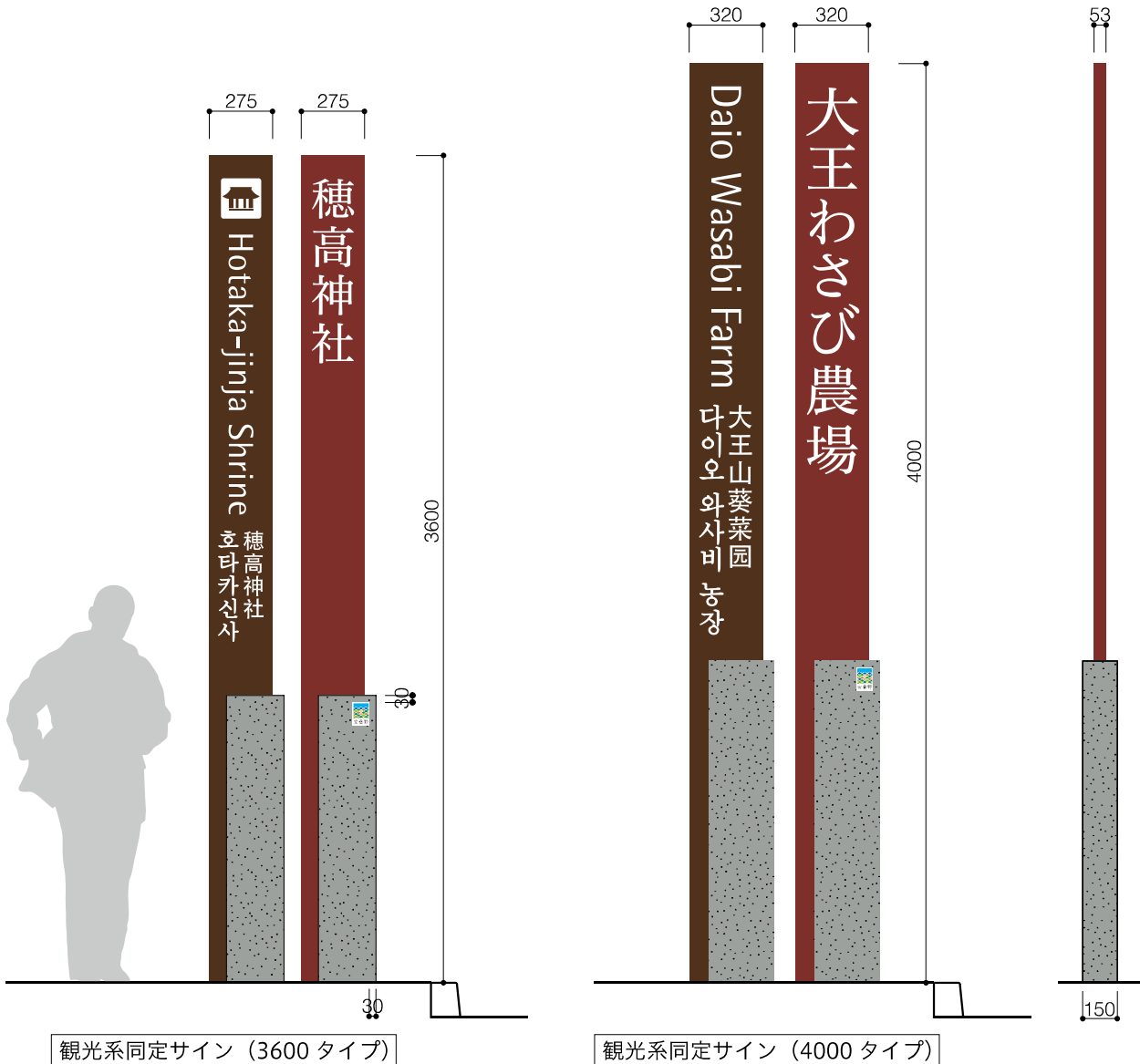
指示サインE型の整備が想定される誘導路を下図の赤線及び路線番号で示す。



5.2 同定サインのデザイン仕様

(1) 外形・寸法基準

外形及び寸法の基準を下图のとおりとする。



注) 3600 タイプはまちなかで、4000 タイプは田園・山麓地で用いる原則とする。

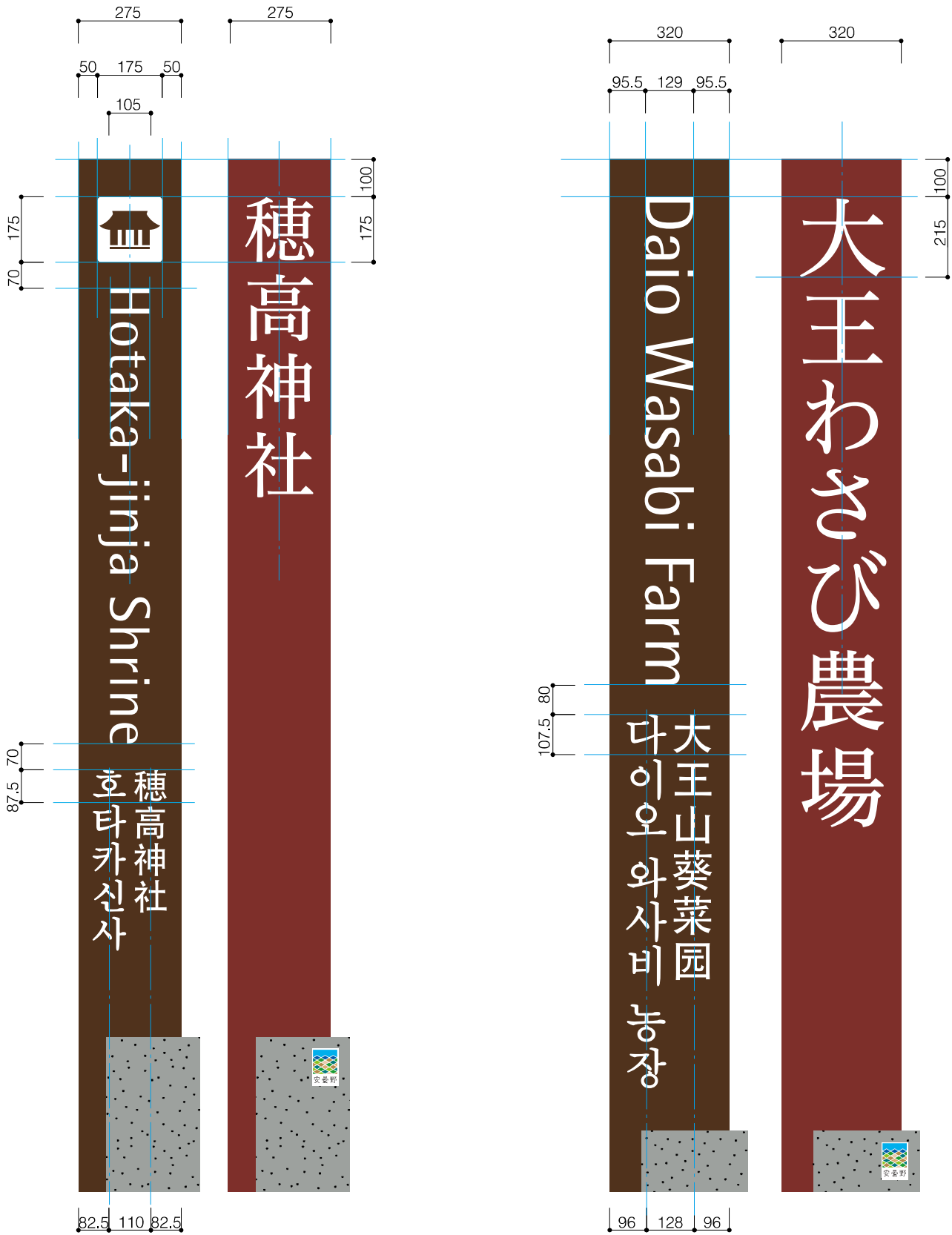
(2) 製作基準

使用色彩・設置型式等、製作にあたっての基準を下表のとおりとする。

表示内容	案内する観光地の名称を4か国語で表示。
使用色彩	4章で定めた「海老茶色」(主張色)と「桧皮色」(補助色)の2色。車道寄りなど、遠方から見やすい側に日本語と海老茶色を用いる。
設置型式	観光地名を遠くから見やすい高さに掲げるとともに、安曇野のまちのたたずまいに似合うよう、ずっと高のびる自立型とする。
構造・材料等	構造ステンレス角パイプ/本体ステンレス板・フッ素樹脂焼付塗装(三分艶)/表示文字高輝度反射シート切文字貼付/腰板花崗岩バーナー仕上

(3) グラフィックレイアウト基準

同定サインのグラフィックレイアウト基準を下図のとおりとする。



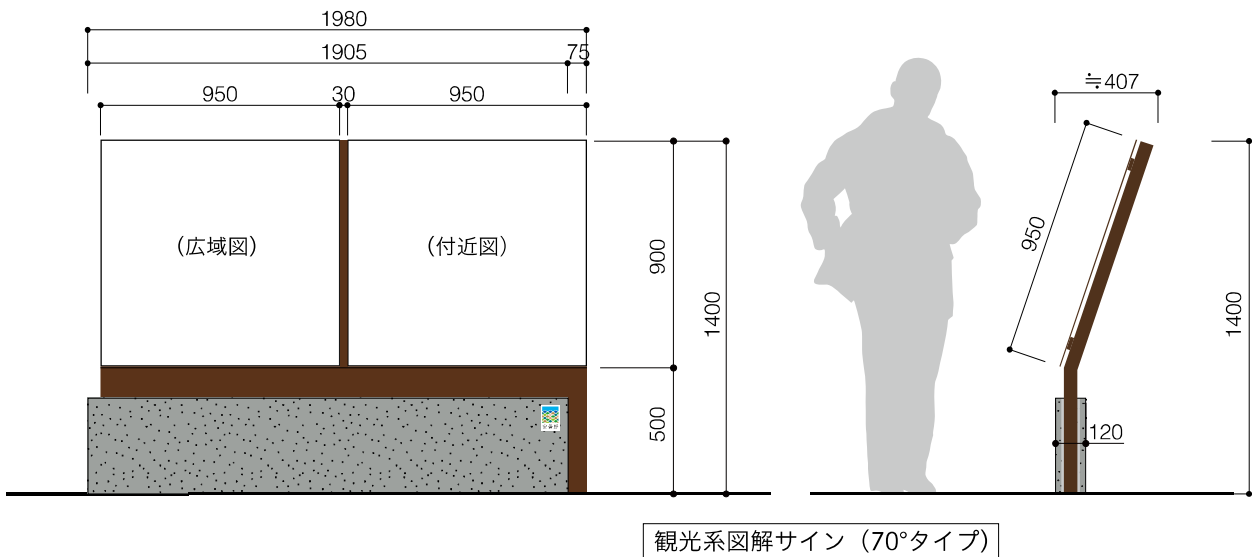
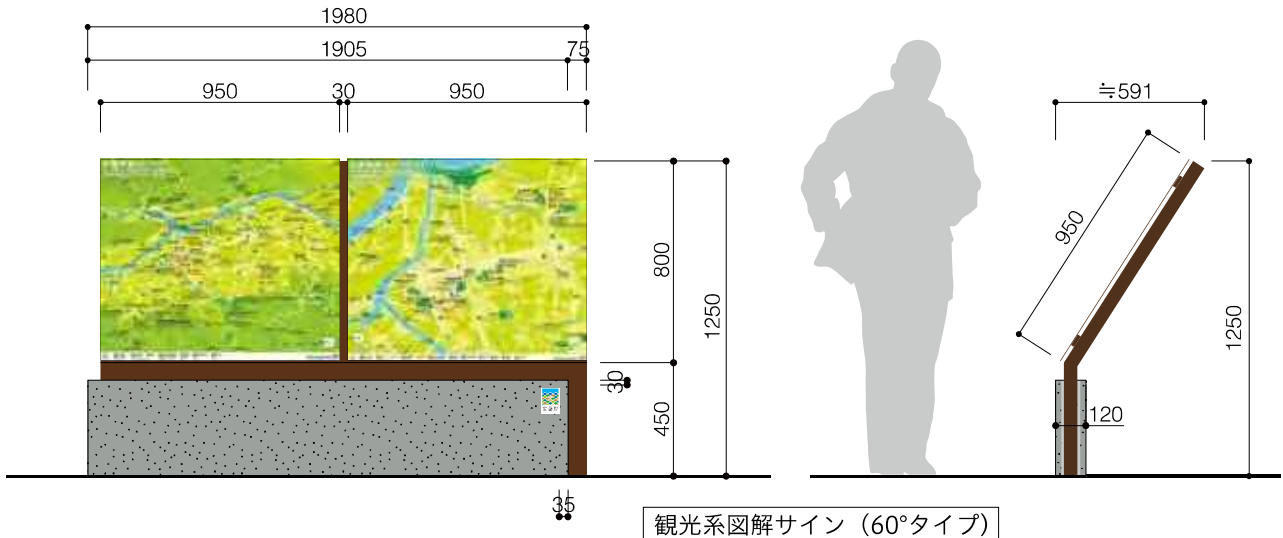
観光系同定サイン (3600 タイプ)

観光系同定サイン (4000 タイプ)

5.3 図解サインのデザイン仕様

(1) 外形・寸法基準

外形及び寸法の基準を下图のとおりとする。



注) 前方の視界が開けている場所に設置する場合は60°タイプを、建物壁前や植栽帯沿いなど前方視界が開けていない場所に設置する場合は70°タイプを使用する。

(2) 製作基準

使用色彩・設置型式等、製作にあたっての基準を下表のとおりとする。

表示内容	図解サインは広域図と付近図の2種一組で表示。広域図は市全域を、付近図は重点整備エリアをクローズアップして表示する。
使用色彩	器具塗装色は「栓皮色」(補助色)。広域図・付近図には、“緑あふれる安曇野”のイメージにつながるよう、緑色のグラデーションを用いる。
設置型式	観光地や施設内において人々の視界を塞ぐことがないよう、スラント(傾斜)型とする。
構造・材料等	構造ステンレス角パイプ/本体ステンレス板・フッ素樹脂焼付塗装(三分艶)/表示面アルミ板出力シート巻込貼/腰板花崗岩バーナー仕上

(3) グラフィックレイアウト基準

図解サインのうち広域図のグラフィックレイアウト基準を下図のとおりとする。



文字サイズ: (S=1/2)

色彩指定:

穂高温泉郷 15
 Hotaka-Onsen Resort
 穂高温泉郷 호타카 온천마을

松尾寺 12
 Matsuoji Temple
 松尾寺 마츠오 지(절)

安曇野IC 8
 Azumino Interchange

- DIC-2165
- DIC-58
- DIC-F281
- DIC-90
- DIC-2546
- DIC-171
- DIC-2556
- DIC-2104
- DIC-2389
- DIC-502
- DIC-523
- DIC-F101

図解サインのうち付近図のグラフィックレイアウト基準を下図のとおりとする。



文字サイズ : (S=1/2)

色彩指定 :

大王わさび農場 15

Daio Wasabi Farm
大王山蕓菜園 다리오 와사비 농장

早春賦歌碑 10

Soshunfu Memorial Bronze Relief

指定緊急避難場所 8

Safety Evacuation Shelter

疏散地点 피난 장소

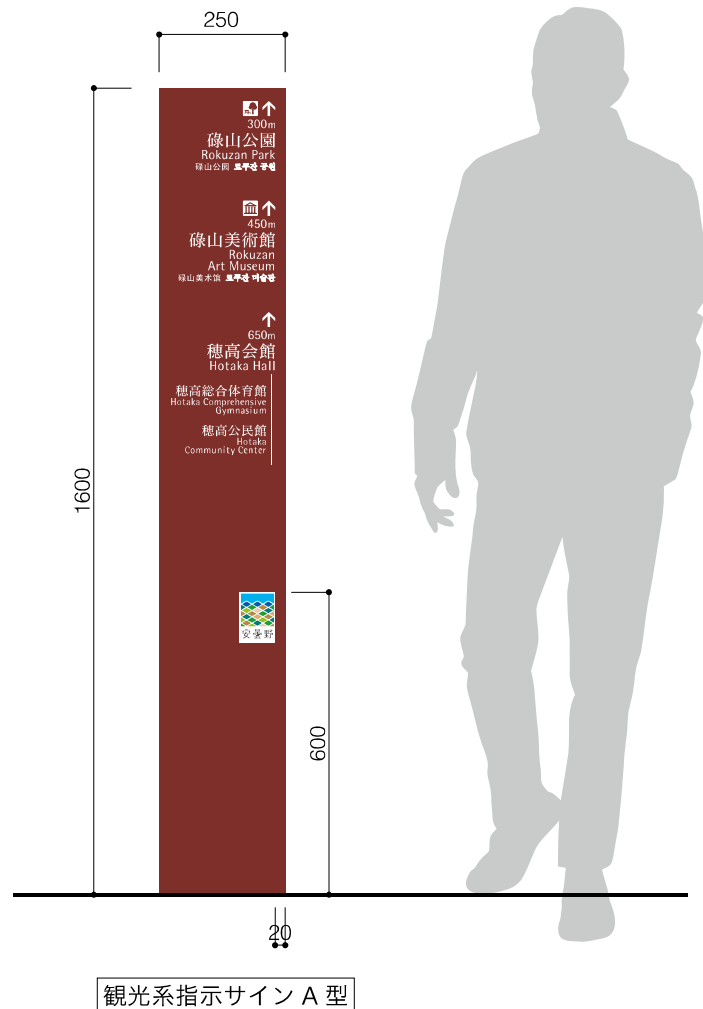
- DIC-N874
- DIC-2165
- DIC-58
- DIC-F281
- DIC-90
- DIC-2546
- DIC-171
- DIC-2556
- DIC-2104
- DIC-2389
- DIC-502
- DIC-F101
- DIC-F260
- C85 M80

5.4 指示サインのデザイン仕様

(1) 指示サイン A 型

1) 外形・寸法基準

外形及び寸法の基準を下図のとおりとする。



注) 銘板はサインを設置する経路の動線面・通路側に貼付する。

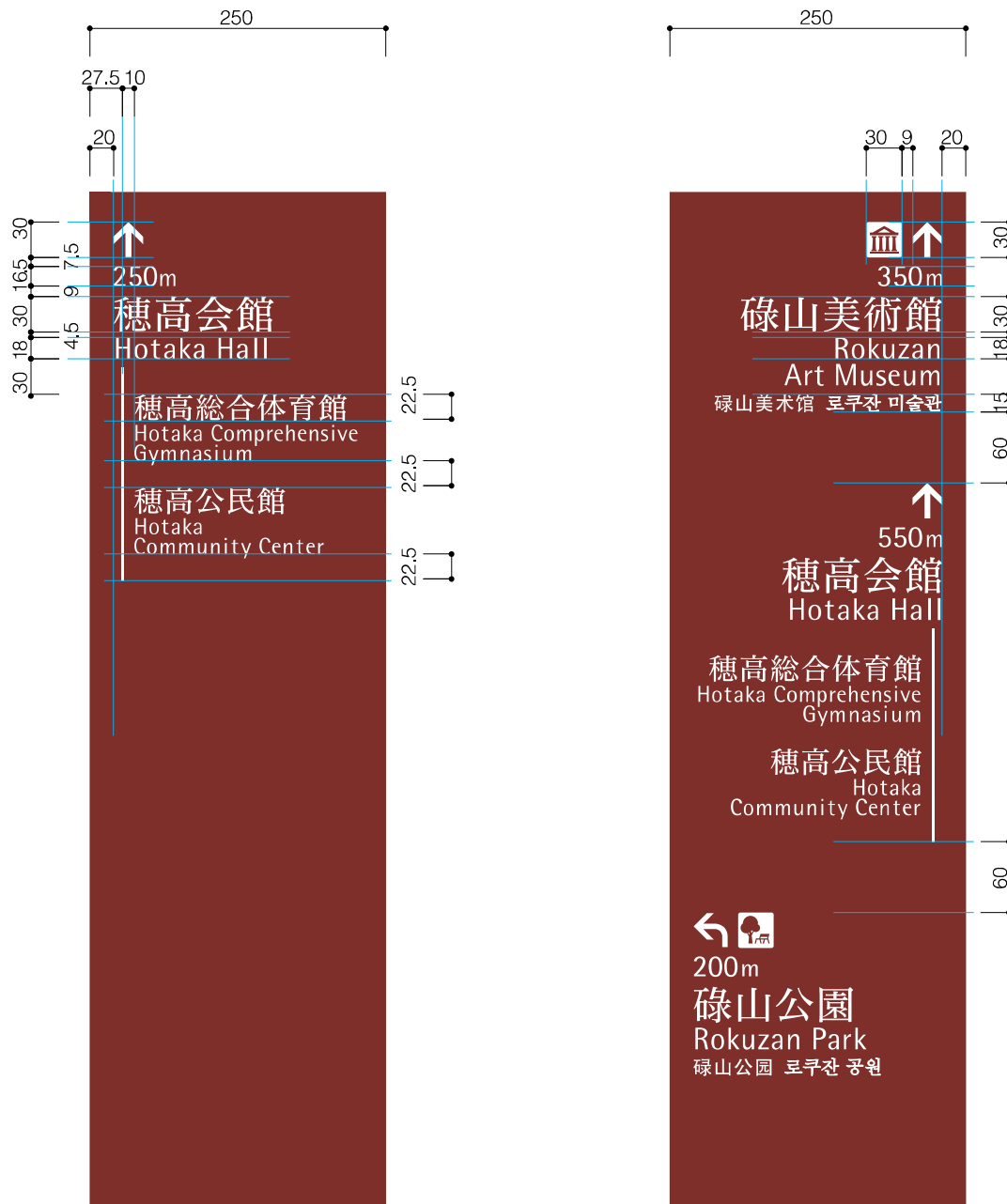
2) 製作基準

使用色彩・設置型式等、製作にあたっての基準を下表のとおりとする。

表示内容	鉄道駅と特定観光地間など、限定的な地点間の移動経路を案内。この A 型に表示する観光地名称は、日本語、英語、中国語、韓国語の 4 か国語。
設置型式	器具塗装色は「海老茶色」(主張色)。
使用色彩	景観の妨げを最小限に抑えるため、スリムな自立型とする。
構造・材料等	構造ステンレス角パイプ/本体ステンレス板・フッ素樹脂焼付塗装 (三分艶)/表示文字反射シート切文字貼付

3) グラフィックレイアウト基準

指示サイン A 型のグラフィックレイアウト基準を下図のとおりとする。

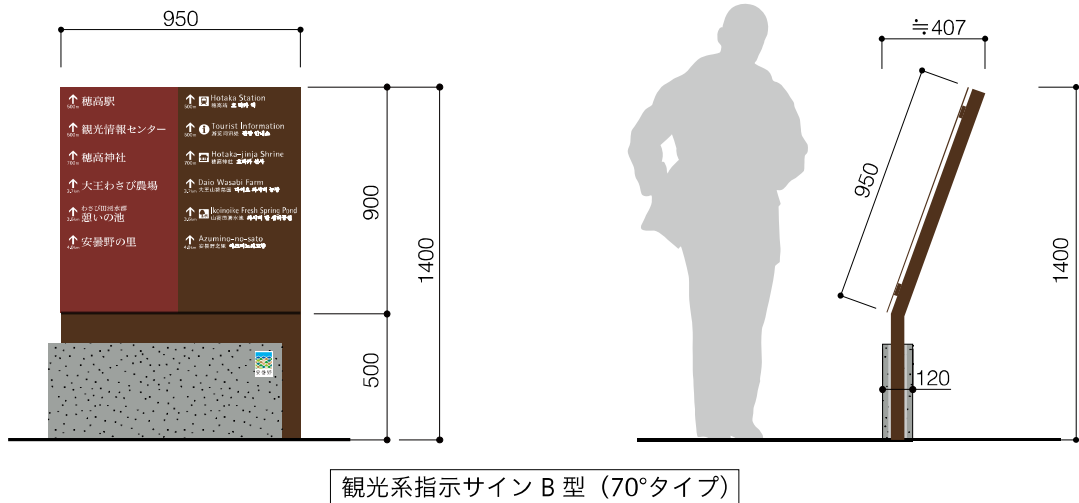
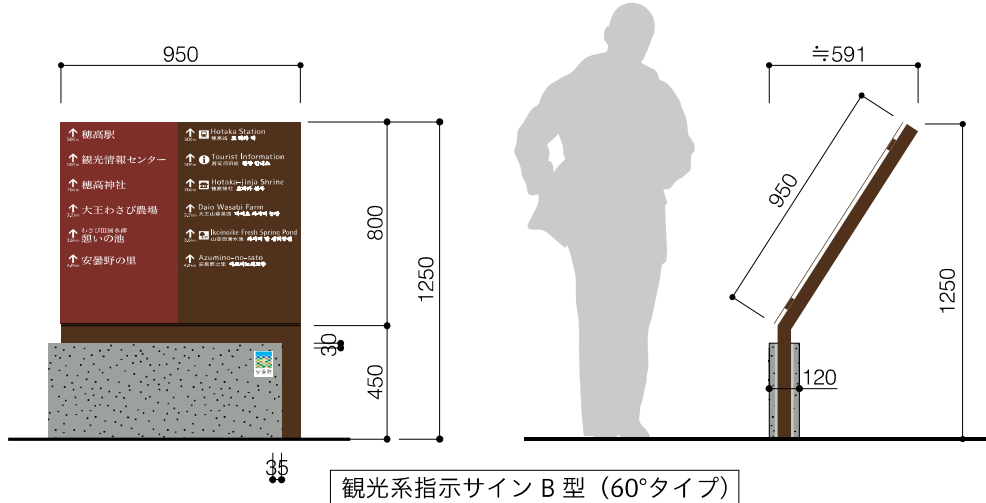


観光系指示サイン A 型

(2) 指示サイン B 型

1) 外形・寸法基準

外形及び寸法の基準を下図のとおりとする。



注) 前方の視界が開けている場所に設置する場合は 60°タイプを、建物壁前や植栽帯沿いなど前方視界が開けていない場所に設置する場合は 70°タイプを使用する。

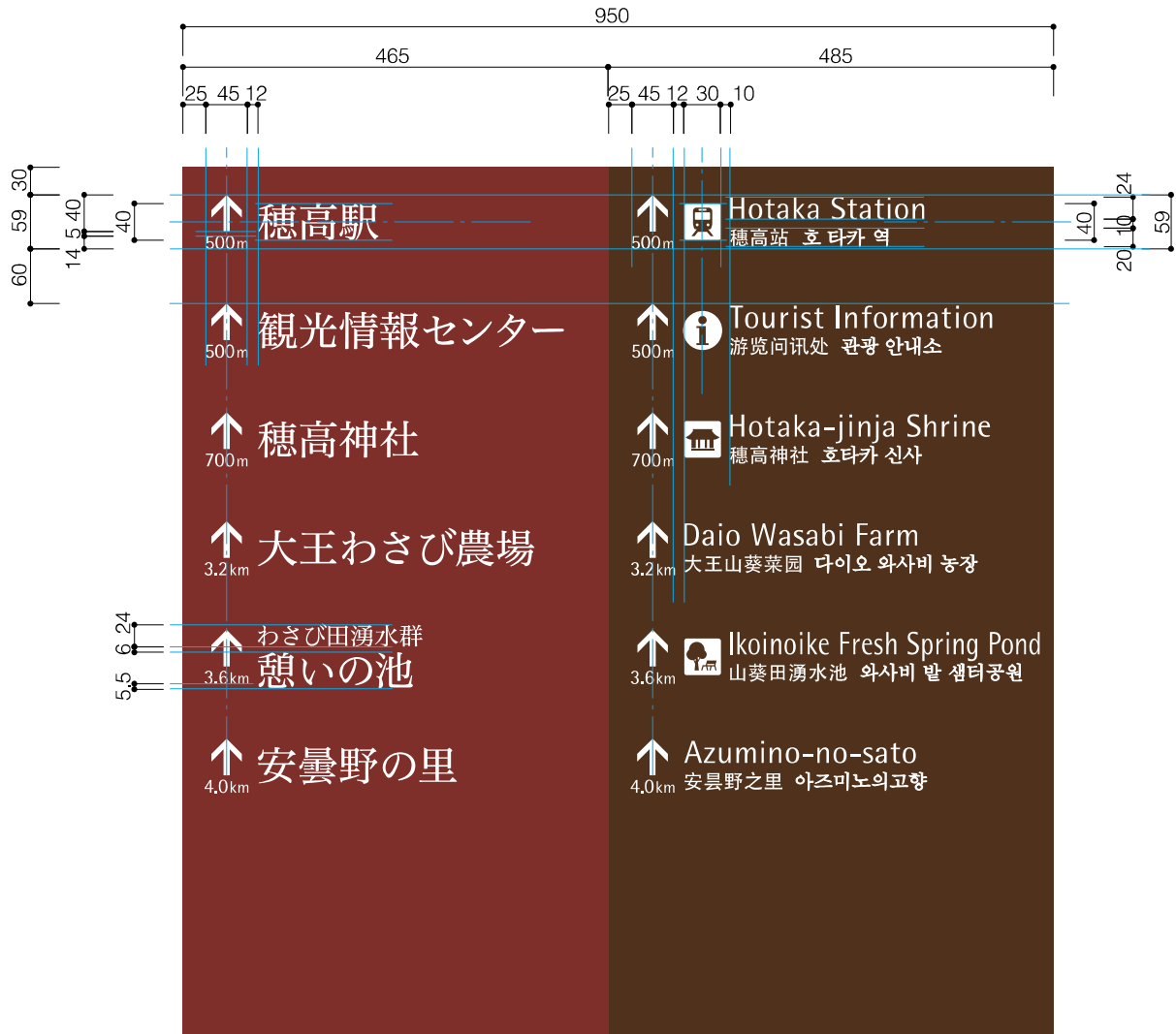
2) 製作基準

使用色彩・設置型式等、製作にあたっての基準を下表のとおりとする。

表示内容	特定の観光地内で同じ回遊単位に属する他の観光地の方向を案内。この B 型に表示する観光地名は、日本語、英語、中国語、韓国語の 4 か国語。
使用色彩	器具本体の塗装色は「栓皮色」(補助色)。表示面は「海老茶色」(主張色)と「栓皮色」(補助色)の 2 色。主張色側に日本語を表示。
設置型式	人々の視野を塞ぐことがないよう、スラント(傾斜)型とする。
構造・材料等	構造ステンレス角パイプ/本体ステンレス板・フッ素樹脂焼付塗装(三分艶)/表示面アルミ板・フッ素樹脂焼付塗装(三分艶)・表示文字反射シート切文字貼付/腰板花崗岩バーナー仕上

3) グラフィックレイアウト基準

指示サインB型のグラフィックレイアウト基準を下図のとおりとする。

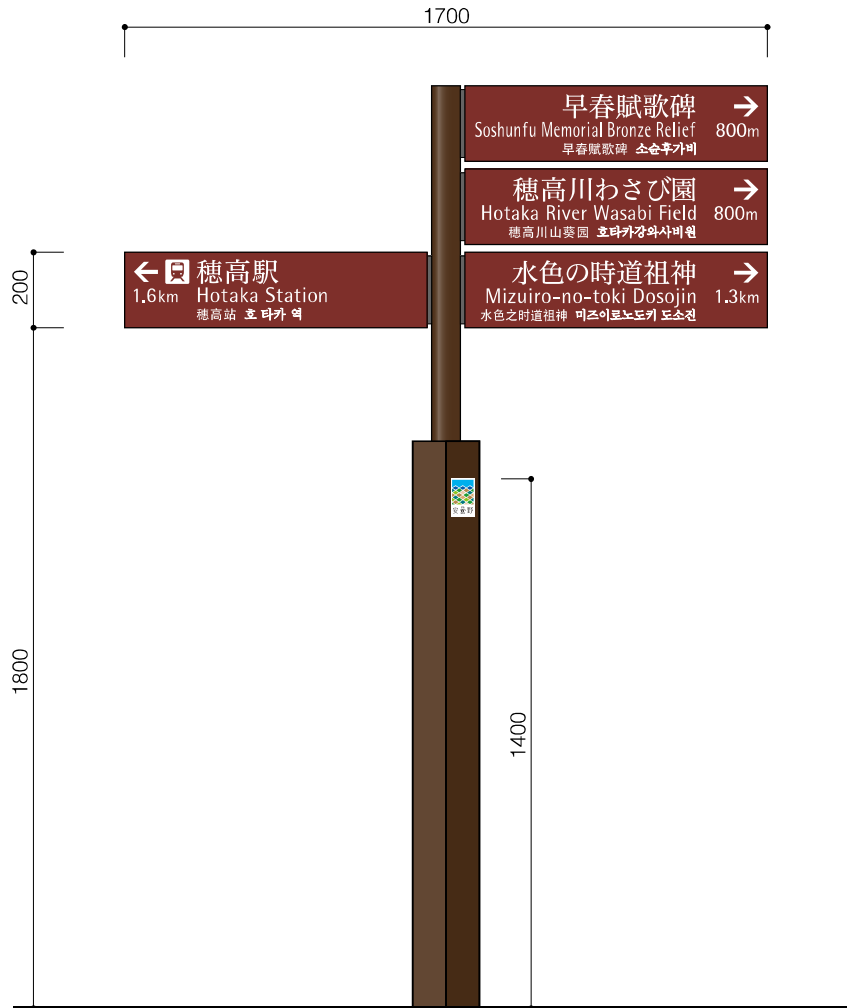


観光系指示サイン B 型

(3) 指示サイン C 型

1) 外形・寸法基準

外形及び寸法の基準を下图のとおりとする。



観光系指示サイン C 型

2) 製作基準

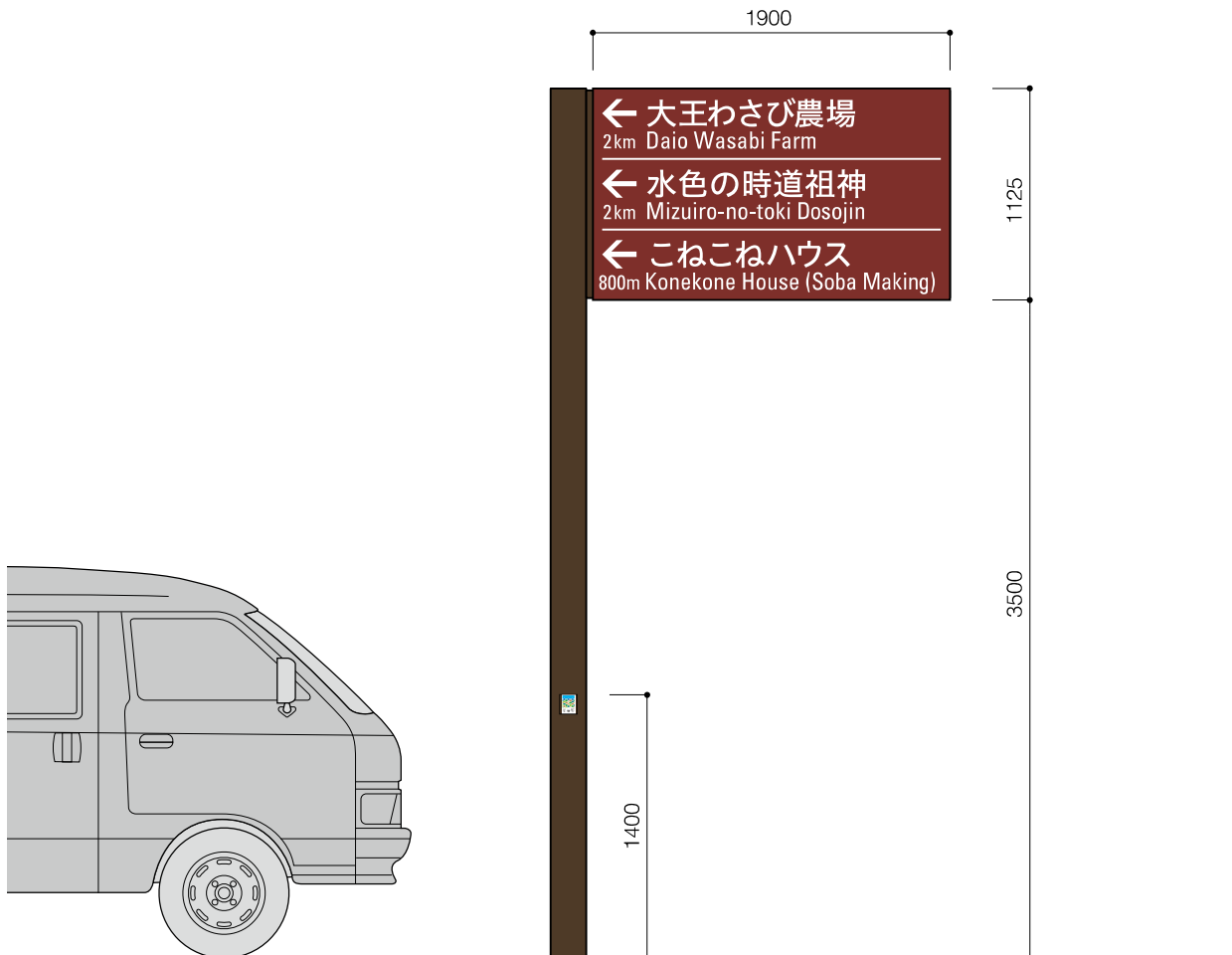
使用色彩・設置型式等、製作にあたっての基準を下表のとおりとする。

表示内容	特定の回遊単位内で各観光地の方向を案内。この C 型に表示する観光地名称は、日本語、英語、中国語、韓国語の 4 か国語。
使用色彩	支柱及び表示面下地金物は「栓皮色」（補助色）、表示面は「海老茶色」（主張色）。
設置型式	さまざまな方向を指し示すことができる矢羽根型とする。
構造・材料等	構造スチール丸パイプ・下部補強スチール角パイプ・溶融亜鉛メッキ下地フッ素樹脂焼付塗装（三分艶）／表示面下地スチール角パイプ・溶融亜鉛メッキ＋ステンレス板 HL 仕上／表示面アルミ板・フッ素樹脂焼付塗装（三分艶）・反射シート切文字貼付

(4) 指示サイン D 型

1) 外形・寸法基準

外形及び寸法の基準を下図のとおりとする。



観光系指示サインD型

2) 製作基準

使用色彩・設置型式等、製作にあたっての基準を下表のとおりとする。

表示内容	四大観光地のほか、市内で人気の高い観光地の方向を、主要道路から各観光地方向に分岐する箇所で見せ案内。日本語・英語の2か国語表示。
使用色彩	支柱及び表示面下地金物は国土交通省『景観に配慮した道路付属物等ガイドライン』に定められている「ダークブラウン（こげ茶色）」。「表示面」は4章で設定した「海老茶色」（主張色）。
設置型式	十字方向を指し示すことができる矢羽根型とする。
構造・材料等	構造スチール丸パイプ・溶融亜鉛メッキ下地フッ素樹脂焼付塗装（三分艶）／腕木及び表示面下地スチール材・溶融亜鉛メッキ下地フッ素樹脂焼付塗装（三分艶）／表示面下地カバーステンレス板・フッ素樹脂焼付塗装／表示面アルミ板高輝度反射シート・透明インクシルク印刷（文字白抜き）

(5) 指示サイン E 型

1) 外形・寸法基準

外形及び寸法の基準を下図のとおりとする。



2) 製作基準

使用色彩・設置型式等、製作にあたっての基準を下表のとおりとする。

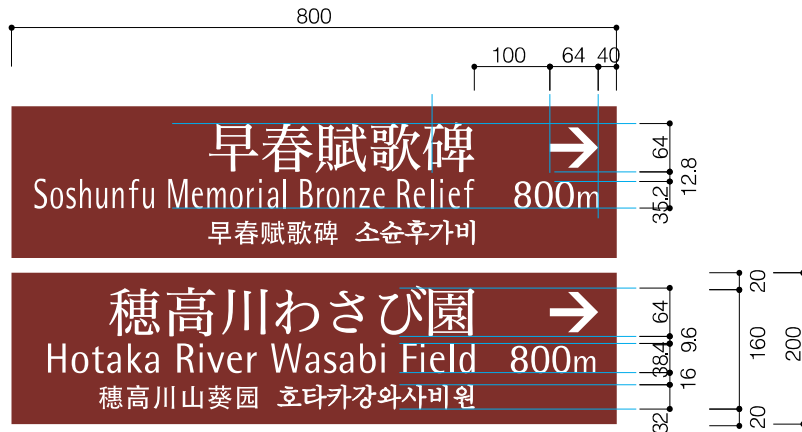
表示内容	「穂高温泉郷」「大王わさび農場」「穂高神社」「碌山美術館」の四地点の方向を、他地域から安曇野市に入った地点で案内。
表示内容	支柱及び表示面下地金物は国土交通省『景観に配慮した道路付属物等ガイドライン』に定められている「ダークブラウン（こげ茶色）」。「表示面は4章で設定した「海老茶色」（主張色）。（なお観光系案内標識の表示面を茶色とする方法は欧米やアジア各国などで標準化されており、静岡県や奈良県など、わが国各地でも導入され始めている。）
設置型式	既存の道路案内標識オーバーハング型と同じ型式を用いて、車道に持ち出すかたちで歩道上に設置。
構造・材料等	道路標識設置基準に従う。

注) 観光系指示サイン E 型で使用する文字の大きさは視認性を確保するため 250mm とする。ただし、交通量が少ない道路に設置する場合は文字高 200mm とする。

(6) 指示サイン C 型・D 型・E 型のグラフィックレイアウト基準

指示サイン C 型・D 型・E 型のグラフィックレイアウト基準をそれぞれ下図のとおりとする。

1) 指示サイン C 型
(S=1/10)



観光系指示サイン C 型

2) 指示サイン D 型
(S=1/20)



観光系指示サイン D 型

3) 指示サイン E 型
(S=1/30)



観光系指示サイン E 型

6. 公共系サインシステム

6.1 整備箇所の想定

(1) 重点整備エリア

下記の5つの範囲を公共系サインシステムの重点整備エリアとして想定する。

エリア①：穂高市街地

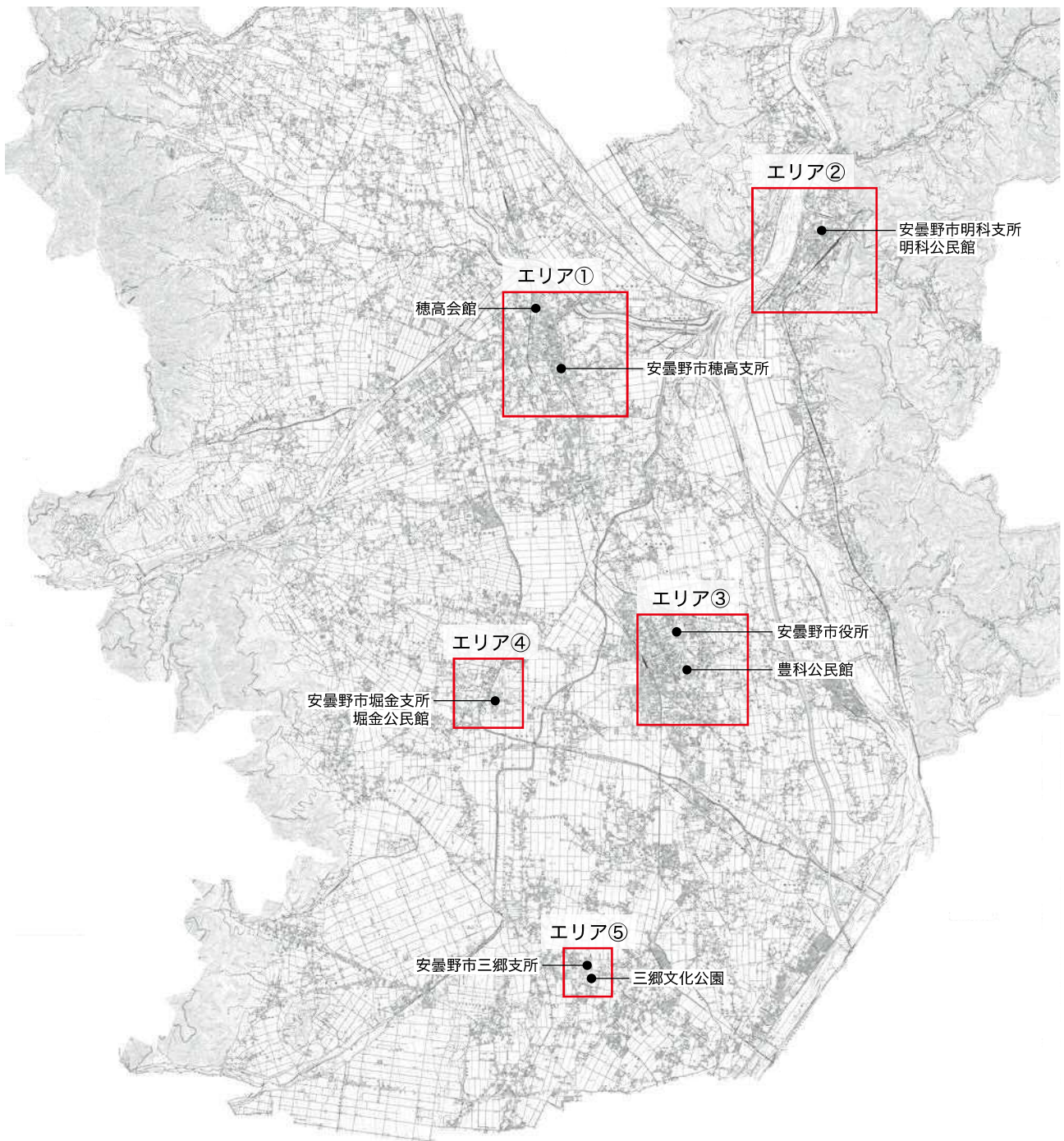
エリア②：明科市街地

エリア③：豊科市街地

エリア④：堀金市街地

エリア⑤：三郷市街地

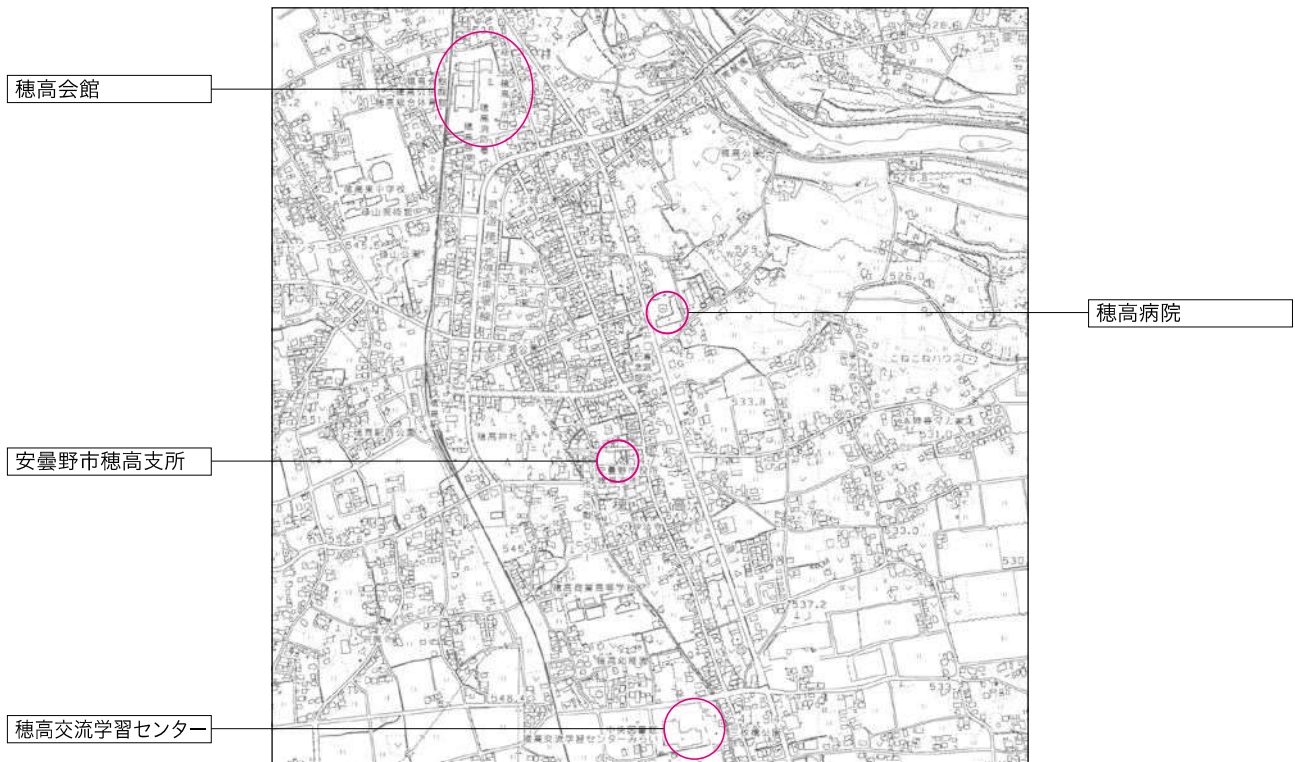
エリア①と②は約1.8km四方、エリア③は約1.6km四方、エリア④は約1km四方、エリア⑤は約700m四方の広さがある。



S=1/90,000

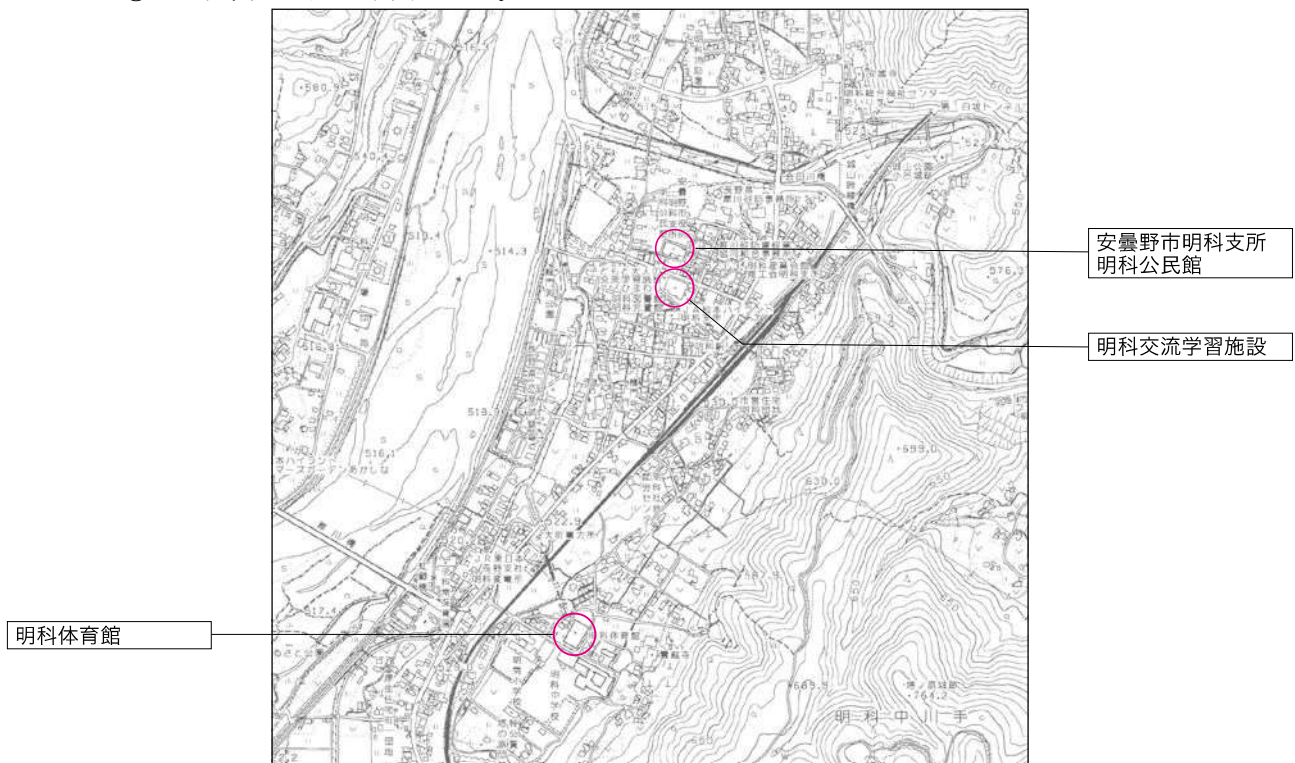
(2) エリア①: 穂高市街地

エリア①の整備箇所想定を下図に示す。



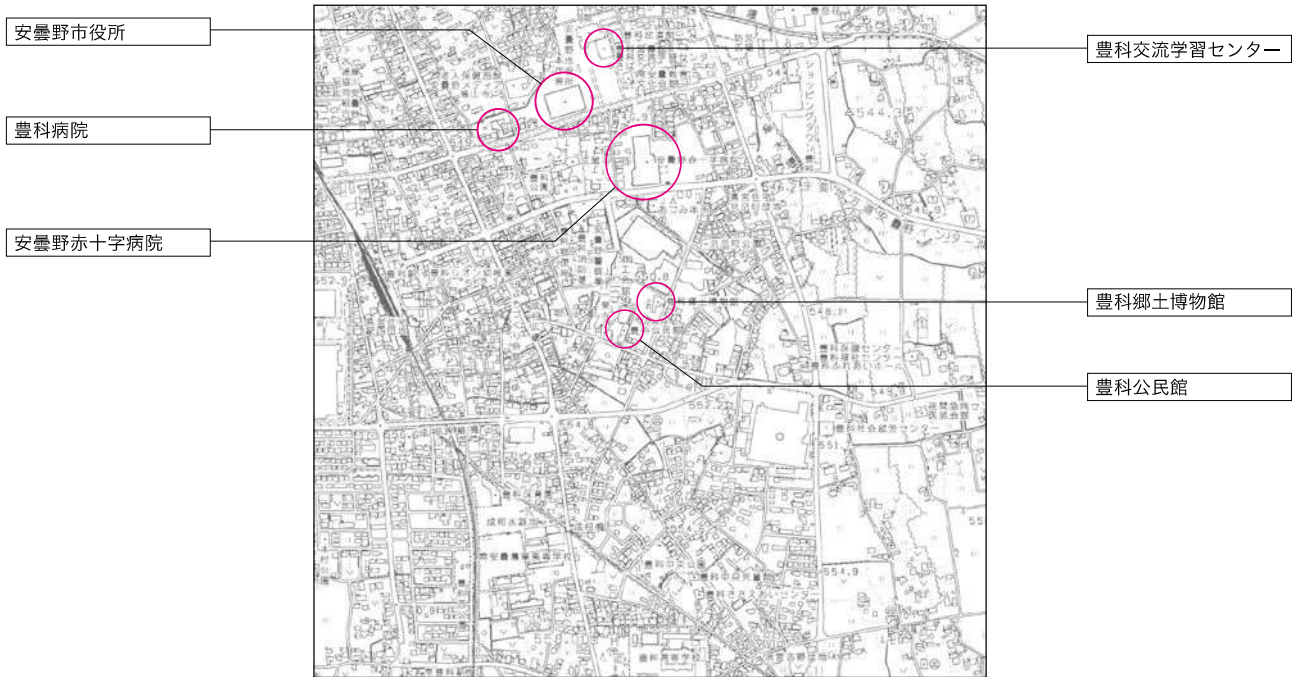
(3) エリア②: 明科市街地

エリア②の整備箇所想定を下図に示す。



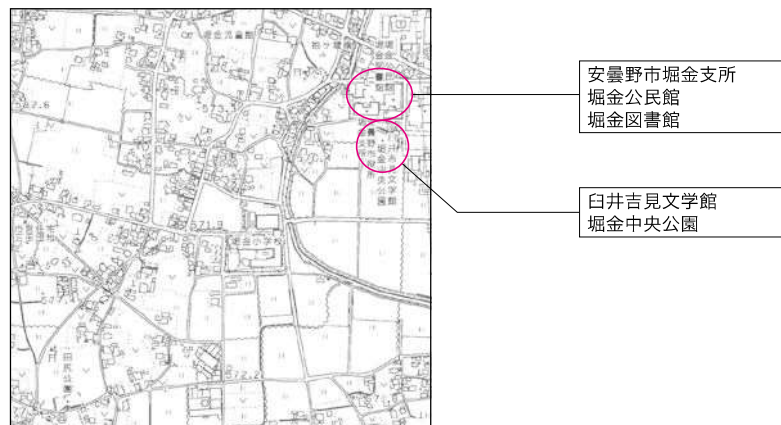
(4) エリア③: 豊科市街地

エリア③の整備箇所想定を下図に示す。



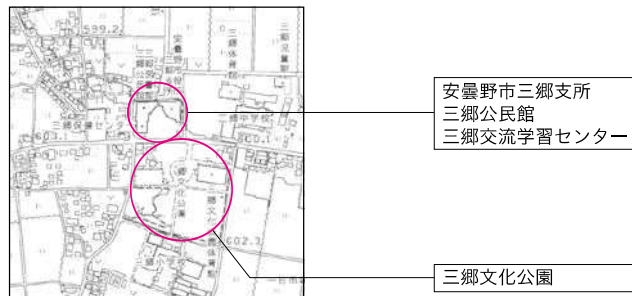
(5) エリア④: 堀金市街地

エリア④の整備箇所想定を下図に示す。



(6) エリア⑤: 三郷市街地

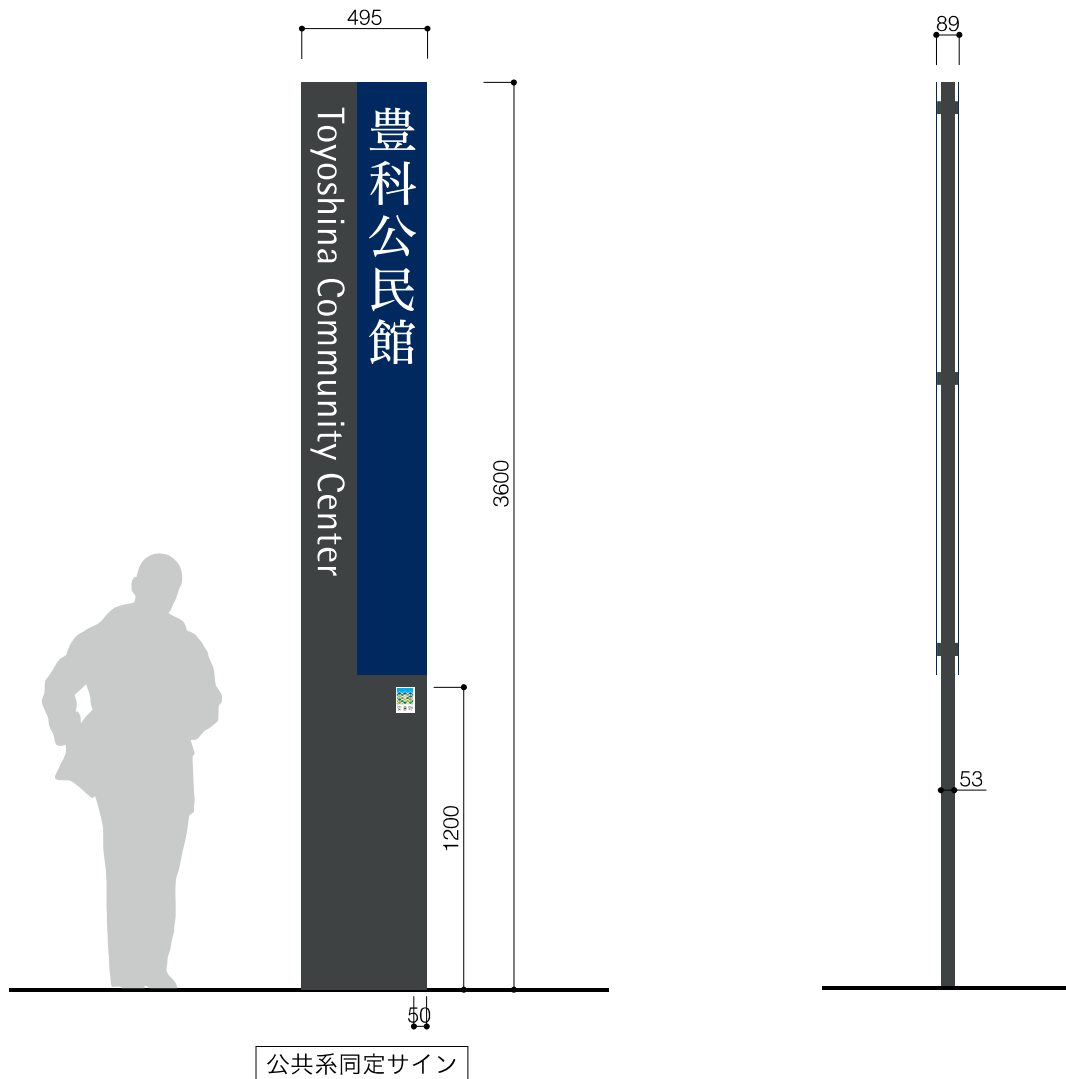
エリア⑤の整備箇所想定を下図に示す。



6.2 同定サインのデザイン仕様

(1) 外形・寸法基準

外形及び寸法の基準を下図のとおりとする。



(2) 製作基準

使用色彩・設置型式等、製作にあたっての基準を下表のとおりとする。

表示内容	案内する公共施設の名称を日本語、英語の2か国語で表示。
使用色彩	4章で定めた「紺色」(主張色)と「チャコールグレー」(補助色)の2色。車道寄りなど、遠方から見やすい側に日本語と紺色を用いる。
設置型式	施設名称を遠方から見やすい高さに掲げるとともに、安曇野のまちのたたずまいに似合うよう、ずっと高くのびる自立型とする。
構造・材料等	構造ステンレス角パイプ/本体ステンレス板・フッ素樹脂焼付塗装(三分艶) / 表示文字高輝度反射シート切文字貼付

(3) グラフィックレイアウト基準

同定サインのグラフィックレイアウト基準を下図のとおりとする。

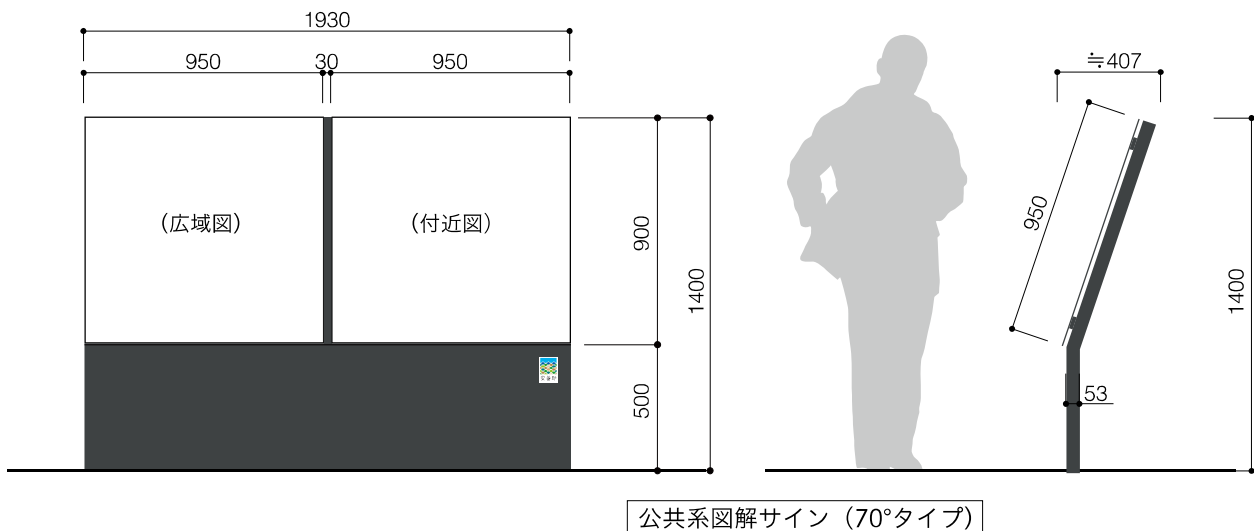
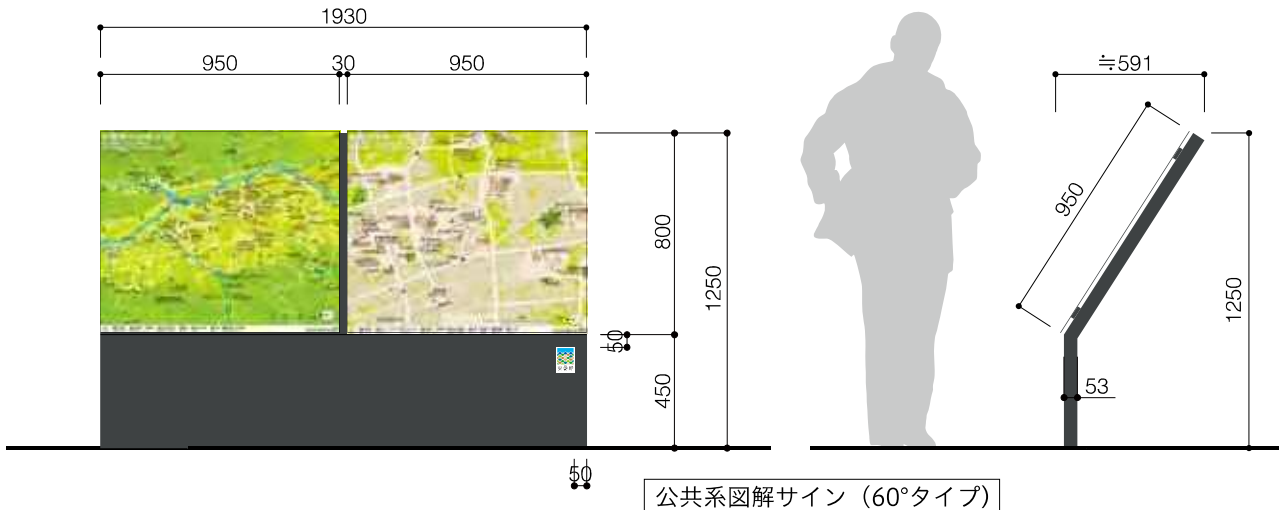


公共系同定サイン

6.3 図解サインのデザイン仕様

(1) 外形・寸法基準

外形及び寸法の基準を下图のとおりとする。



注) 前方の視界が開けている場所に設置する場合は60°タイプを、建物壁前や植栽帯沿いなど前方視界が開けていない場所に設置する場合は70°タイプを使用する。

(2) 製作基準

使用色彩・設置型式等、製作にあたっての基準を下表のとおりとする。

表示内容	図解サインは広域図と付近図の2種一組で表示。広域図は市全域を、付近図は重点整備エリアをクローズアップして表示する。
使用色彩	器具塗装色は「チャコールグレー」（補助色）。広域図には、「緑あふれる安曇野」のイメージにつながるよう、緑色のグラデーションを用いる。
設置型式	観光地や施設内において人々の視野を塞ぐことがないよう、スラント（傾斜）型とする。
構造・材料等	構造ステンレス角パイプ／本体ステンレス板・フッ素樹脂焼付塗装（三分艶）／表示面アルミ板出力シート巻込貼

(3) グラフィックレイアウト基準

図解サインのうち広域図のグラフィックレイアウト基準を下図のとおりとする。



文字サイズ : (S=1/2)

安曇野市役所 12
 Azumino City Office
 安曇野市政府 아즈미노의 시청

安曇野IC 8
 Azumino Interchange

色彩指定 :

- DIC-2165
- DIC-58
- DIC-F281
- DIC-90
- DIC-2546
- DIC-171
- DIC-2556
- DIC-2104
- DIC-2389
- DIC-502
- DIC-523
- DIC-F101

図解サインのうち付近図のグラフィックレイアウト基準を下図のとおりとする。



文字サイズ : (S=1/2)

豊科駅 15
 Toyoshina Sta.
 丰科站 도요시나 역

安曇警察署 10
 Azumino Police Station

指定緊急避難場所 8
 Safty Evacuation Shelter
 疏散地点 피난 장소

色彩指定 :

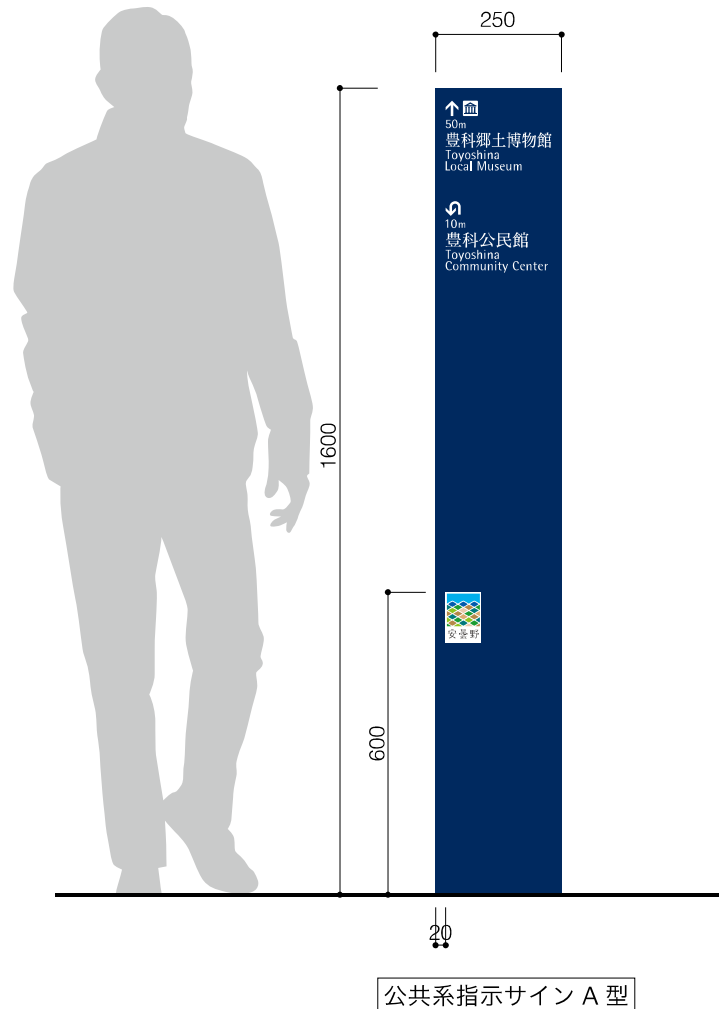
- DIC-2165
- DIC-C157
- DIC-F281
- DIC-F307
- DIC-N789
- DIC-N769
- DIC-2389
- DIC-502
- DIC-F101

6.4 指示サインのデザイン仕様

(1) 指示サイン A 型

1) 外形・寸法基準

外形及び寸法の基準を下図のとおりとする。



注) 銘板はサインを設置する経路の動線面・通路側に貼付する。

2) 製作基準

使用色彩・設置型式等、製作にあたっての基準を下表のとおりとする。

表示内容	鉄道駅と特定施設間など、限定的な地点間の移動経路を案内。この A 型に表示する施設名称は、日本語、英語の 2 か国語。
設置型式	器具塗装色は「紺色」(主張色)。
使用色彩	景観の妨げを最小限に抑えるため、スリムな自立型とする。
構造・材料等	構造ステンレス角パイプ/本体ステンレス板・フッ素樹脂焼付塗装 (三分艶)/表示文字反射シート切文字貼付

3) グラフィックレイアウト基準

指示サイン A 型のグラフィックレイアウト基準を下図のとおりとする。

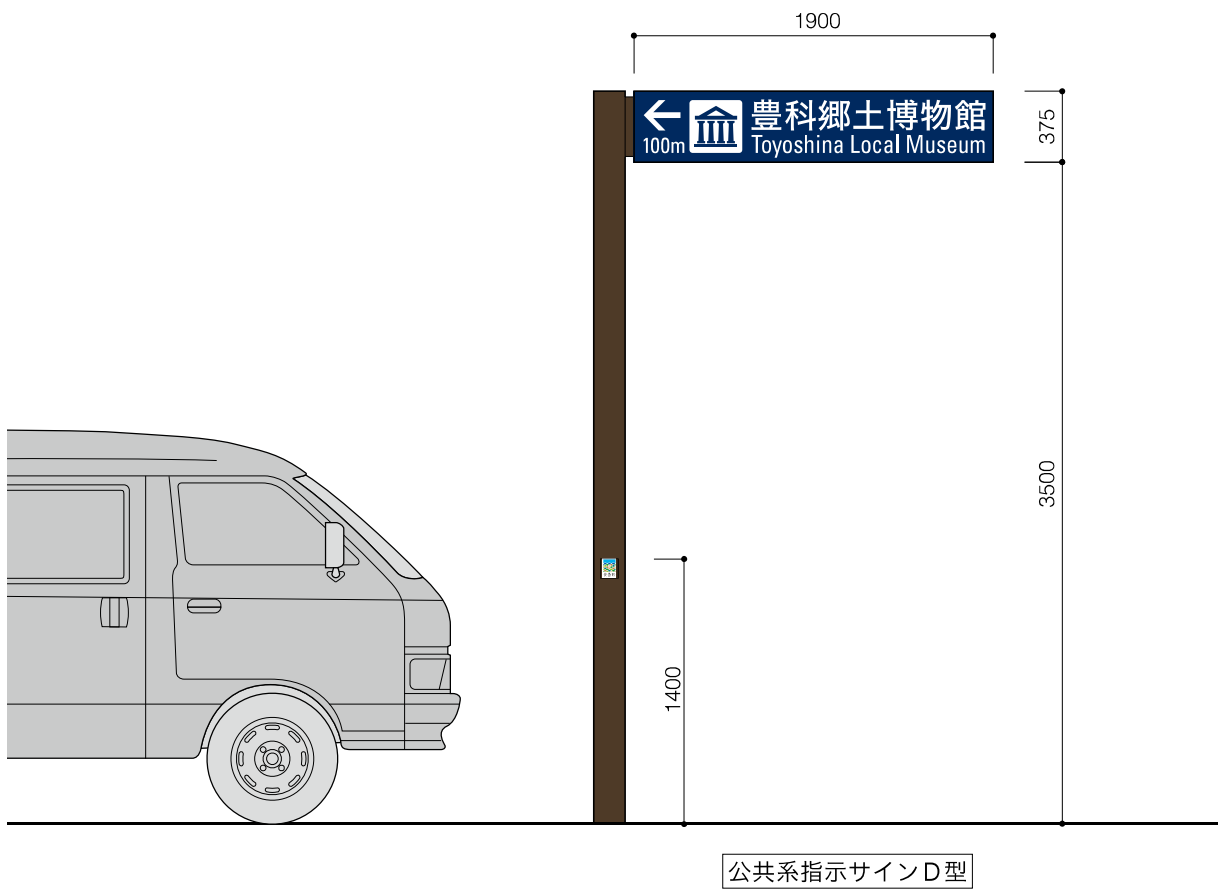


公共系指示サイン A 型

(2) 指示サイン D 型

1) 外形・寸法基準

外形及び寸法の基準を下図のとおりとする。



2) 製作基準

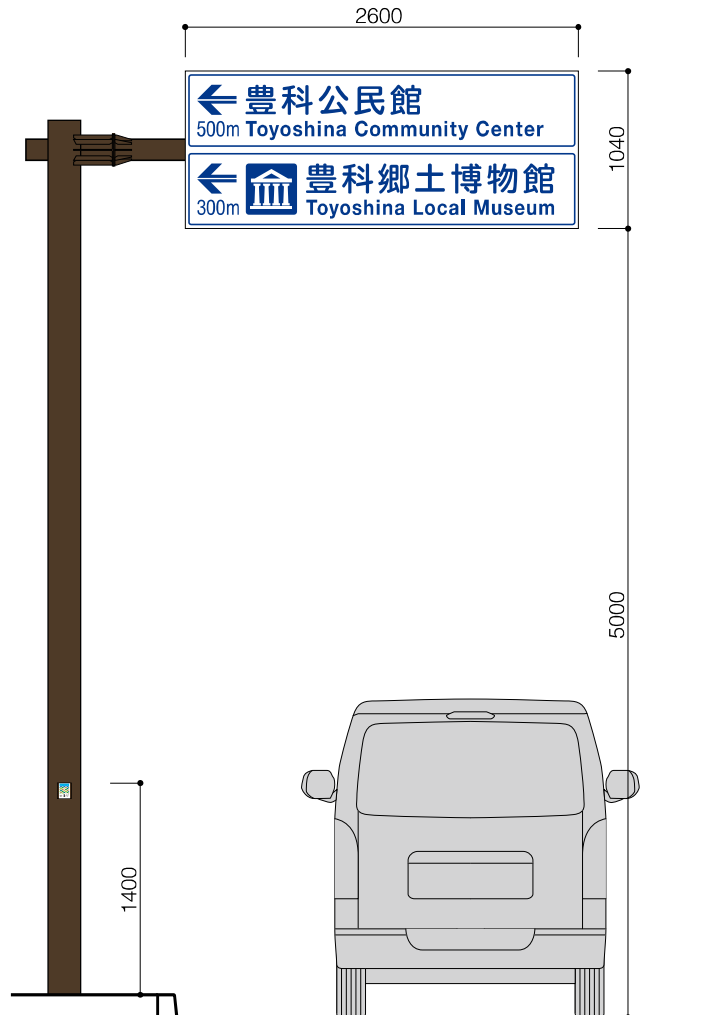
使用色彩・設置型式等、製作にあたっての基準を下表のとおりとする。

表示内容	指示サイン E 型の設置位置と該当施設間で案内が必要な場合、その方向指示。日本語・英語の 2 か国語表示。
表示内容	支柱及び表示面下地金物は国土交通省『景観に配慮した道路付属物等ガイドライン』に定められている「ダークブラウン（こげ茶色）」。表示面は 4 章で設定した「紺色」（主張色）。
設置型式	十字方向を指し示すことができる矢羽根型とする。
構造・材料等	構造スチール丸パイプ・溶融亜鉛メッキ下地フッ素樹脂焼付塗装（三分艶）／腕木及び表示面下地スチール材・溶融亜鉛メッキ下地フッ素樹脂焼付塗装／表示面下地カバーステンレス板・フッ素樹脂焼付塗装（三分艶）／表示面アルミ板高輝度反射シート・透明インクシルク印刷（文字白抜き）

(3) 指示サイン E 型

1) 外形・寸法基準

外形及び寸法の基準を下図のとおりとする。



公共系指示サイン E 型

2) 製作基準

使用色彩・設置型式等、製作にあたっての基準を下表のとおりとする。

表示内容	特定の市街地で案内が必要な来訪施設の方向を指示。案内施設の選択は、市民のニーズに基づいて担当部署が判断する。
表示内容	市内各所に見られる著名地点道路案内標識（114-A）との整合を図るため、白地青文字とする。支柱及び表示面下地金物は国土交通省『景観に配慮した道路付属物等ガイドライン』に定められている「ダークブラウン（こげ茶色）」。
設置型式	既存の道路案内標識オーバーハング型と同じ型式を用いて、車道に持ち出すかたちで歩道上に設置。
構造・材料等	道路標識設置基準に従う。

注) 公共系指示サイン E 型で使用する文字の大きさは道路標識設置基準に従い 200mm とする。ただし、前後の道路線形や設計速度を考慮し、文字高 250mm も可とする。

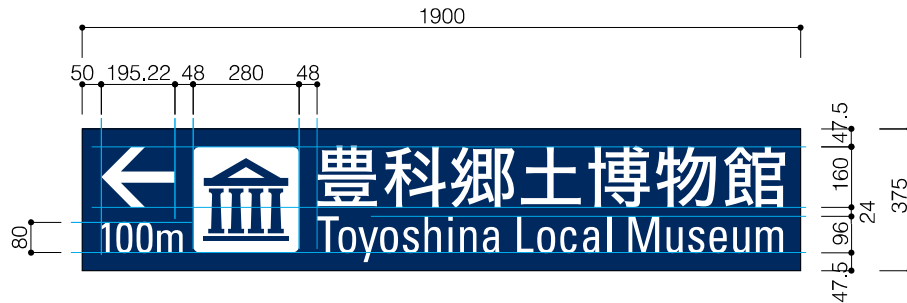
また、既存道路標識の構造部を流用し表示面を更新する場合、表示面サイズを考慮し文字高を設定する。

(4) 指示サイン D 型・E 型のグラフィックレイアウト基準

指示サイン D 型・E 型のグラフィックレイアウト基準をそれぞれ下図のとおりとする。

1) 指示サイン D 型

(S=1/20)



公共系指示サイン D 型

2) 指示サイン E 型

(S=1/20)



公共系指示サイン E 型

7. 管理運用

サインの設置、維持管理について役割分担等を明確にする。

なお、国・県の交付金等の特定財源を活用して体系的に整備する事業については、都市計画課が実施するが、新たに建設される施設等のサインについては、建設所管課において整備する事とする。

7.1 管理運用方針

- ・サインの管理対象を「本体管理」、「情報管理」、「システム管理」に分け、各管理項目の内容について担当部署を設定し、役割分担の明確化を図る。
- ・サイン新設時は管理番号を付与し、台帳に登録のうえ、情報更新や保守点検を記録する。
- ・GISに登録し、庁内の情報共有を図る。

7.2 管理運用体制

管理項目	主な内容	管理主体
1. 管理本体	・個々のサイン本体の計画・設計・設置	当該施設の所管部署
	・定期的な管理及び補修	
	・サイン管理台帳の作成	
	・施工図面、占用書類等の管理	
2. 情報管理	・表示情報の管理、更新	当該施設の所管部署
	・台帳の更新	
3. ルール管理	・ガイドラインの適正な運用	都市計画課
	・ガイドラインの改訂	
	・新規設置、更新についての協議	

7.3 管理方法

(1) 管理番号の付与



①整備地域	サインを整備した地域名の漢字の頭文字を表示
②分類	観光系、公共系の漢字の頭文字を表示 例：観、公、そ（そは、その他）
③種別	種別の漢字の頭文字を表示 例：指、同、図、そ
④整備年	新規整備された年度を西暦の下2桁の数字で表示
⑤設置番号	同じ種別のサインを任意に2桁の数字で表示

設定例：穂高地域碌山公園同定サイン 2018 年設置
穂-観同-18-01

(2) ステッカーの付与

メンテナンスの効率化のため、サインに下記様式のステッカーを貼付する。
耐光性があるシートを仕様すること。

管理番号	○-○○-○○-○○
設置年月日	(西暦) 年 ○○月 ○○日
管理者	安曇野市役所 ●●部 ○○課
連絡先	0263-71-2000 (代)

大きさ：たて5センチ 横10センチ 程度

7.4 管理台帳

サイン管理台帳は「長野県公共案内整備指針」に基づき、以下の頁に添付した書式フォーマットを使用する。

安曇野市 公共案内標識 管理台帳 (1)

種別	<input type="checkbox"/> 観光系	設置年月日	年 月 日	A・B・C・D・E 3600タイプ・4000タイプ	
	<input type="checkbox"/> 公共系				安曇野市
所在地					
本体製作者		社名			
		部署名			
		担当者			
		電話			
施工業者		社名			
		部署名			
		担当者			
		電話			
備考					

各部仕様	<ul style="list-style-type: none"> ・大きさ ・素材 ・仕上げ ・その他 	検査	承認
柱	<ul style="list-style-type: none"> ・大きさ ・素材 ・仕上げ ・その他 		
表示面	<ul style="list-style-type: none"> ・大きさ ・素材 ・仕上げ ・その他 		
基礎	<ul style="list-style-type: none"> ・大きさ ・素材 ・仕上げ ・その他 		

設置場所見取図	
---------	--

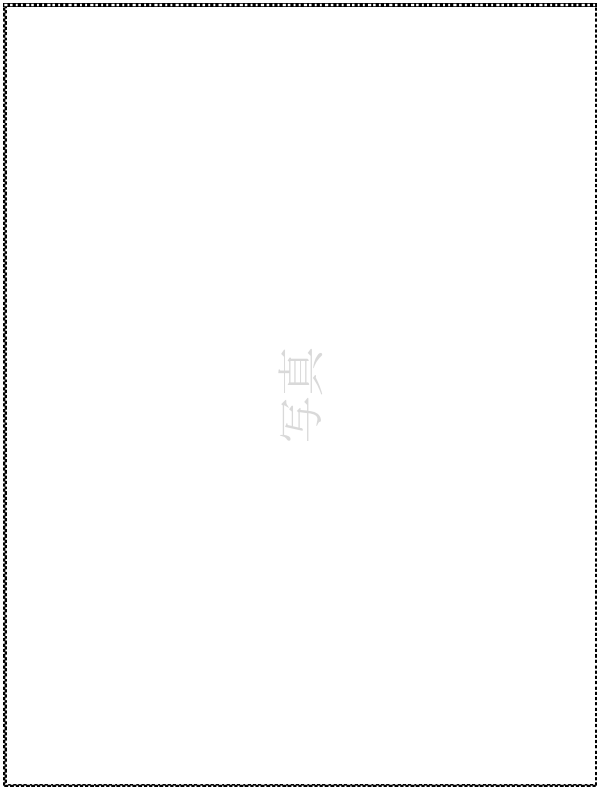
安曇野市 公共案内標識 管理台帳 (2)

定期メンテナンス記録			
第 回実施 年 月 日	第 回実施 年 月 日	第 回実施 年 月 日	第 回実施 年 月 日
担当 清掃 柱 □ 健康状態 □ ボルトのゆるみ □ キズ・破損 表示面 □ 表面の状態 (ひび割れ等) □ がたつき □ キズ・破損 □ 情報内容 (更新の必要性) 備考	担当 清掃 柱 □ 健康状態 □ ボルトのゆるみ □ キズ・破損 表示面 □ 表面の状態 (ひび割れ等) □ がたつき □ キズ・破損 □ 情報内容 (更新の必要性) 備考	担当 清掃 柱 □ 健康状態 □ ボルトのゆるみ □ キズ・破損 表示面 □ 表面の状態 (ひび割れ等) □ がたつき □ キズ・破損 □ 情報内容 (更新の必要性) 備考	担当 清掃 柱 □ 健康状態 □ ボルトのゆるみ □ キズ・破損 表示面 □ 表面の状態 (ひび割れ等) □ がたつき □ キズ・破損 □ 情報内容 (更新の必要性) 備考

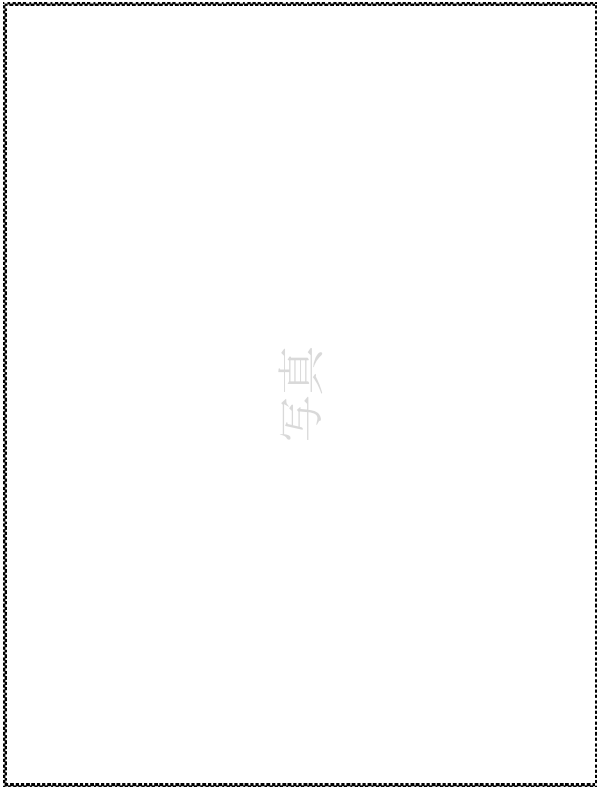
チェック記号とその説明	
記号	記号の説明
A	現場で修理
B	部品取り換えの必要あり
C	本体取り換えの必要あり
D	現場で塗装
E	部分塗装の必要あり
F	全体塗装の必要あり
処理経過	
内容	年 月 日
内容	年 月 日
内容	年 月 日

安曇野市 公共案内標識 管理台帳 (3)

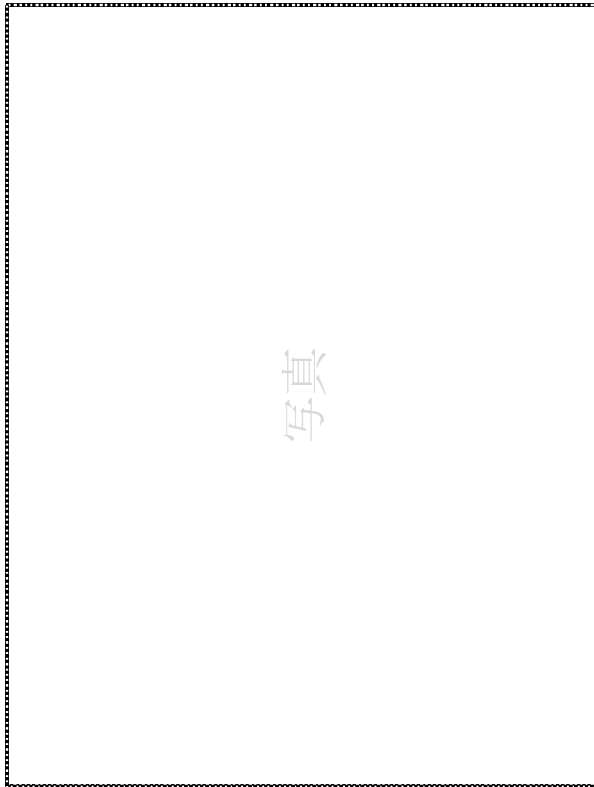
正面



側面



遠景



撮影年月日	年	月	日
-------	---	---	---

安曇野市 公共案内標識 管理台帳 (4)
設計図書等添付

本サインシステムによってサインに掲出される、代表的な観光施設・公共施設等の用語を以下に示す。

カテゴリー	日本語（グレー帯：中国語）	英語（グレー帯：韓国語）
行動起点	JR 大糸線	JR Oito Line
	JR 大糸线	JR 오오이토선
	島内駅	Shimauchi Sta.
	岛内站	시마우치역
	島高松駅	Shimatakamatsu Sta.
	岛高松站	시마타카마즈역
	梓橋駅	Azusabashi Sta.
	梓桥站	아즈사바시역
	一日市場駅	Hitoichiba Sta.
	一日市场站	히토이치바역
	中萱駅	Nakagaya Sta.
	中萱站	나카가야역
	南豊科駅	Minami-Toyoshina Sta.
	南丰科站	미나미토요시나역
	柏矢町駅	Hakuyacho Sta.
	柏矢町站	하쿠야초역
	穂高駅	Hotaka Sta.
	穗高站	호타카역
	有明駅	Ariake Sta.
	有明站	아리이케역
安曇追分駅	Azumi-Oiwake Sta.	
安曇追分站	아즈미오이와케역	
JR 篠ノ井線	JR Shinonoi Line	
JR 筱之井线	JR 시노노이선	
田沢駅	Tazawa Sta.	
田泽站	다자와역	
明科駅	Akashina Sta.	
明科站	아카시나역	
長野自動車道	Nagano Expressway	
安曇野 IC	Azumino Interchange	
梓川スマート IC	Azusagawa Smart Interchange	

観光案内所	観光情報センター	Tourist Information
	游览问讯处	관광 안내소

カテゴリー	日本語（グレー帯：中国語）	英語（グレー帯：韓国語）
観光名所	大王わさび農場	Daio Wasabi Farm
	大王山葵菜园	다이오 와사비 농장
	安曇野の里	Azumino-no-sato
	安曇野之里	아즈미노의고향
	わさび田湧水群憩いの池	Ikoinoike Fresh Spring Pond
	山葵田湧水群公園	와사비 밭 샘터공원
	穂高神社	Hotaka-jinja Shrine
	穂高神社	호타카 신사
	碌山美術館	Rokuzan Art Museum
	碌山美术馆	로쿠잔 미술관
	ちひろ美術館	Chihiro Art Museum
	知弘美术馆	치히로미술관
	安曇野穂高温泉郷	Azumino Hotaka-Onsen Resort
	安曇野穂高温泉郷	아즈미노 호타카 온천마을
	県営烏川溪谷緑地	Karasu River Park
	县营乌川溪谷绿地	가라스가와계곡 공원
	安曇野ワイナリー	Azumino Winery
	葡萄酒庄園	아즈미노 와이너리
	楡の郷	Nirenosato
	楡之故郷	유의마을
	道の駅ほりがねの里	Horigane-no-sato
	堀金之里	호리가의마을
	旧国鉄篠ノ井線廃線敷	Former Railway Walking Trail
	前铁路歩行道	이전 철도 산책로
	国営アルプスあづみの公園（堀金・穂高地区）	Alps Azumino National Govt. Park
	阿尔卑斯安曇野国营公园	국영 알프스 아즈미노 공원
	アートヒルズミュージアム	Art Hills Museum
	Art Hills 玻璃艺术馆	아트힐즈 뮤지엄
	Vif 穂高	Vif Hotaka
	Vif 穂高	Vif 호타카
	松尾寺	Matsuoji Temple
	松尾寺	마츠오 지(절)
	有明山神社	Ariakeyama-jinja Shrine
	有明山神社	아리아케 야마신사
	犀川白鳥湖	Saigawa River Swan Lake
	御宝田遊水池	Gohoden Water Park
	長峰山展望台	Mt.Nagamine Observatory
	光城山山頂	Peak of Mt.Hikarujo
	こねこねハウス（そば打ち体験）	Konekone House(Soba Making)
	早春賦歌碑	Soshunfu Memorial Bronze Relief
	東光寺	Tokoji Temple
	水色の時道祖神	Mizuiro-no-toki Dosojin
	やまびこ自転車道	Yamabiko Cycling Road
三股登山口	Mitsumata Trailhead	
一の沢登山口	Ichinosawa Trailhead	
中房登山口	Nakabusa Trailhead	
中房温泉	Nakabusa Onsen	
冷沢登山口	Tsumetazawa Trailhead	
安曇野温泉田沢荘	Azumino Onsen Tazawa Inn	
曾根原家住宅	Sonehara Residence	

カテゴリー	日本語	英語
観光名所	大庄屋山口家	Yamaguchi Residence
	じてんしゃひろば	Bicycle park
	天蚕センター	Tensan Silk Center
	三郷スカイライン展望台	Misato Skyline Observatory
	プラザ安曇野	Plaza Azumino
	あづみ野ガラス工房	Azumino Glass Studio
	鐘の鳴る丘集会所	Kaneno-naru-oka Community Center
	青原寺	Seigenji Temple
安曇野スイス村	Azumino Swiss Village	

文化施設	豊科近代美術館	Municipal Museum of Modern Art, Toyoshina
	田淵行男記念館	Yukio Tabuchi Memorial Museum
	高橋節郎記念美術館	Takahashi Setsuro Art Museum
	いいだかん	IIDA・KAN
	絵本美術館森のおうち	Morinoouchi Picture Book Museum
	ビンサンチ美術館	Vinsanchi Art Museum
	安曇野山岳美術館	Azumino Mountain Art Museum
	北アルプス展望美術館	North Alps Viewing Museum of Art
	穂高郷土資料館	Hotaka Local Museum
	熊井啓記念館	Kei Kumai Memorial Museum
	豊科郷土博物館	Toyoshina Local Museum
	飯沼飛行士記念館	Iinuma Pilot Memorial Museum
	貞亨義民記念館	Gimin Memorial Museum
	臼井吉見文学館	Yoshimi Usui Literature Museum
穂高陶芸会館	Hotaka Ceramic Center	

公園	高家公園	Takibe Park
	豊科中央公園	Toyoshina Central Park
	豊科南部総合公園	Toyoshina South Comprehensive Park
	松尾寺山公園	Matsuoji-yama Park
	三郷文化公園	Misato Culture Park
	堀金中央公園	Horigane Central Park
	龍門淵公園	Ryumombuchi Park
	満願寺つつじ公園	Manganji Temple Azalea Park
	かじかの里公園	Kajikanosato Park
	あやめ公園	Iris Park
	室山アグリパーク	Muroyama Agri Park
	碌山公園	Rokuzan Park
	小岩岳城址公園	Koiwa-take-joshi Park
	温泉公園	Onsen Resort Park
	成相広場	Nariai Park
	豊科西公園	Toyoshina West Park
	豊科公園	Toyoshina Park
	見岳町公園	Mitake Tawn Park
防災広場	Disaster Restoration Park	

カテゴリー	日本語（グレー帯：中国語）	英語（グレー帯：韓国語）
温泉・入浴施設	しゃくなげの湯	Shakunage-no-yu (Onsen)
	豊科温泉湯多里山の神	Toyoshina Onsen Yuttariyama-no-kami
	ビレッジ安曇野	Village Azumino
	みさと温泉ファインビュー室山	Misato Onsen Fine View Muroyama
	蝶ヶ岳温泉 ほりでーゆ～四季の郷	Chogatake Onsen Holiday-yu(Hotel&Onsen)
	長峰荘	Nagamine Inn
	八面大王足湯	Footbath

商業施設	イオン	AEON
	カインズ	CAINZ HOME
	西友	SEIYU

市役所庁舎	安曇野市役所	Azumino City Office
	安曇野市政府	아즈미노의 시청
	安曇野市穂高支所	Azumino City Hotaka Branch
	安曇野市堀金支所	Azumino City Horigane Branch
	安曇野市三郷支所	Azumino City Misato Branch
	安曇野市明科支所	Azumino City Akashina Branch
	長野県安曇野庁舎	Nagano Pref. Azumino Office

商工施設	まちづくり会館	Town Planning Center
	商工会館	Commercial and Industrial Center
	商工会三郷支所	Commercial and Industry Association Misato Branch

体育施設	県民豊科運動広場	Toyoshina Public Ground
	豊科武道館	Toyoshina Martial Arts Gymnasium
	豊科勤労者総合スポーツ施設	Toyoshina Comprehensive Gymnasium
	高家スポーツ広場	Takibe Sports Ground
	穂高会館	Hotaka Hall
	穂高総合体育館	Hotaka Comprehensive Gymnasium
	高瀬川河川内緑地マレットゴルフ場	Takase River Mallet Golf Course
	西穂高運動場	Hotaka West Public Ground
	堀金総合体育館	Horigane Comprehensive Gymnasium
	堀金総合運動場	Horigane Comprehensive Ground
	三郷体育館	Misato Gymnasium
	三郷文化公園体育館	Misato Culture Park Gymnasium
	明科体育館	Akashina Gymnasium

カテゴリー	日本語	英語
学校	穂高南小学校	Hotaka South Elementary School
	穂高西小学校	Hotaka West Elementary School
	穂高北小学校	Hotaka North Elementary School
	三郷小学校	Misato Elementary School
	穂高東中学校	Hotaka East Junior High School
	穂高西中学校	Hotaka West Junior High School
	三郷中学校	Misato Junior High School
	豊科高等学校	Toyoshina High School
	南安曇農業高等学校	South Azumi Agricultural High School
	穂高商業高等学校	Hotaka Commercial High School
	明科高等学校	Akashina High School

公民館	豊科公民館	Toyoshina Community Center
	穂高公民館	Hotaka Community Center
	堀金公民館	Horigane Community Center
	三郷公民館	Misato Community Center
	明科公民館	Akashina Community Center

子育て施設	豊科中央児童館	Toyoshina Center Children's House
	三郷児童館	Misato Children's House

交流学习センター ・図書館	豊科交流学习センター	Toyoshina Learning Center
	穂高交流学习センター	Hotaka Learning Center
	三郷交流学习センター	Misato Learning Center
	中央図書館	Central Library
	豊科図書館	Toyoshina Library
	三郷図書館	Misato Library

医療施設	穂高病院	Hotaka Hospital
	安曇野赤十字病院	Japanese Red Cross Society Azumino Hospital
	豊科病院	Toyoshina Hospital
	医師会館	Medical Association Center
	夜間急病センター	Nighttime Emergency Hospital
	長野県立こども病院	Nagano Children's Hospital
	ミサトピア小倉病院	Misatopia Ogura Hospital

保健センター	豊科保健センター	Toyoshina Health Center
	三郷保健センター	Misato Health Center

カテゴリー	日本語（グレー帯：中国語）	英語（グレー帯：韓国語）
福祉施設	サントピア豊科	Suntopia Toyoshina
	豊科ささえあいセンター	Toyoshina Meeting Center
	豊科ふれあいホール	Toyoshina Fureai Hall
	豊科福祉センター	Toyoshina Welfare Center
	豊科社会就労センター	Toyoshina Society Working Center
	豊科たんぽぽ	Toyoshina Tanpopo(Support center for handicaped people's employment)
	ひめこぶしの家	Himekobushi-no-ie(Facility for the handicaped)
	特別養護老人ホーム豊岳荘	Hogakuso(Special elderly nursing home)
	老人保健施設安曇野メディア	Azumino Media (Rehabilitation Center)
警察	安曇警察署	Azumino Police Station
消防署	豊科消防署	Toyoshina Fire Station
郵便局	豊科郵便局	Toyoshina Post Office
避難場所	指定緊急避難場所	Safty Evacuation Shelter
	疏散地点	피난 장소

橋梁	梓橋	Azusa Bridge
	安曇野大橋	Azumino-ohashi Bridge
	安曇橋	Azumi Bridge
	アルプス大橋	Alps-ohashi Bridge
	木戸橋	Kido Bridge
	犀川橋	Saigawa Bridge
	田沢橋	Tazawa Bridge
	常盤橋	Tokiwa Bridge
	富田橋	Tomita Bridge
	中房大橋	Nakabusa-ohashi Bridge
	橋爪橋	Hashizume Bridge
	穂高大橋	Hotaka-ohashi Bridge
	穂高橋	Hotaka Bridge
	光橋	Hikaru Bridge

カテゴリー	日本語	英語
河川	梓川	Azusa River
	烏川	Karasu River
	黒沢川	Kurosawa River
	犀川	Saigawa River
	拾ヶ堰	Jikka Barrage
	高瀬川	Takase River
	天満沢川	Tenmazawa River
	奈良井川	Narai River
	穂高川	Hotaka River
	万水川	Yorozui River

その他	法蔵寺	Hozoji Temple
	一乗寺	Ichijyoji Temple
	高山寺	Kozanji Temple
	三柱神社	Mihashira-jinja Shrine
	JA あづみ	JA Azumi
	ニチコン	Nichicon
	しゃくなげ線	Shakunage Road
	広域農道	Long Farm Road
	山麓線	Piedmont Road



安曇野

安曇野市公共サインガイドライン

発行年月 平成 30 (2018) 年 10 月

発 行 安曇野市

編 集 安曇野市 都市建設部 都市計画課

〒399-8281

長野県安曇野市豊科 6000 番地

電 話 : 0263-71-2246

F A X : 0263-72-3569

メール : toshikeikaku@city.azumino.nagano.jp
